

Canon

Zoom Lens

CN7x17

取扱説明書「情報ディスプレイ」

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

－ はじめに －

このたびはキャノンズームレンズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本製品の取扱説明書は以下の内容で構成され、下記の製品モデルに適用されます。

- 取扱説明書「はじめにお読みください」(製品同梱)
- 取扱説明書「規制」(製品同梱)
- 取扱説明書「レンズ」(Web)
- 取扱説明書「情報ディスプレイ」(Web)
- 被写界深度表 (Web)

型名	マウント
CN7x17 KAS T/R1	RF
CN7x17 KAS T/P1	PL

本製品のファームウェアは常に最新のバージョンにしてお使いください。
ファームウェアの配信開始以降は、サポートページから最新バージョンのファームウェアをダウンロードすることができます。

RFマウント製品： アップデート用のファイルが保存されたSDカードをカメラに差し込み、カメラのメニューからファームウェアを更新することができます。

PLマウント製品： アップデート用のファイルが保存されたUSBデバイス(USBメモリー)をドライブユニットのUSBコネクタに差し込み、ドライブユニットのディスプレイからファームウェアを更新することができます。

ファームウェアの最新バージョンの有無やアップデートの方法については、以下のホームページにてご確認ください。

<https://cam.start.canon/>

－ 目次 －

基本操作方法 6

各部の名称と操作方法	6
基本操作	6
リセット操作	7
初期値	7
ディスプレイメニュー階層	8

1. Top 12

1 Top 画面および各種画面	12
-----------------------	----

2. Sub 13

2 Sub 画面	13
2-1 オートアイリスゲインの設定	14
2-2 ユーザーの切り換え	14
2-3 AUX スイッチへの機能割り付け	15
2-4 VTR スイッチへの機能割り付け	15
2-5 アイリス A/M スイッチの動作設定	16
2-6 RET スイッチへの機能割り付け	16
2-7 AUX1 スイッチへの機能割り付け	17
2-8 AUX2 スイッチへの機能割り付け	17
2-9 アイリストルクの設定	18
2-10 ズームトラックの ON/OFF 切り換え	18
2-11 ユーザー設定のコピー	19
2-12 ズームシーソースイッチのカーブ特性設定	19
2-13 メカ端の自動調整	20

3. Status 21

3-1 レンズの状態表示 _ 機能	21
3-2 レンズの状態表示 _ 操作元	21
3-3 レンズの状態表示 _ 位置	22

4. Setting

23

4-1 ユーザーの切り換え	23
4-2 ユーザー設定のコピー	23
4-3 ユーザー設定のエクスポート	24
4-4 ユーザー設定のインポート	25
4-5 各ユーザー設定のリセット	27
4-6 全ユーザー設定のリセット	27
4-7 ロック設定	28
4-8 ロック解除	29
4-9 AUX スイッチへの機能割り付け	30
4-10 AUX1 スイッチへの機能割り付け	30
4-11 AUX2 スイッチへの機能割り付け	31
4-12 VTR スイッチへの機能割り付け	31
4-13 RET スイッチへの機能割り付け	32
4-14 アイリス A/M スイッチの動作設定	32
4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え	33
4-16 フレーミングプリセット 1 の制御対象切り換え	33
4-17 フレーミングプリセット 2 の制御対象切り換え	34
4-18 プリセット時のズームスピード設定	34
4-19 プリセット時のズーム立ち上がり特性設定	35
4-20 プリセット時のズーム止まり際特性設定	35
4-21 オートアイリスゲインの設定	36
4-22 リモートアイリスゲインの設定	36
4-23 アイリストルクの設定	37
4-24 アイリス補正の ON/OFF 切り換え	37
4-25 アイリスクローズ検出の ON/OFF 切り換え	38
4-26 ズームトラックの ON/OFF 切り換え	38
4-27 ズームサーボの立ち上がり特性設定	39
4-28 ズームサーボの止まり際特性設定	39
4-29 ズームメカ端部の止まり際特性設定	40
4-30 ズームシーソースイッチのカーブ特性設定	40
4-31 アナログズームデマンドのカーブ特性設定	41
4-32 ズームスピード調整ボリュームの最大値設定	41
4-33 ズームスピード調整ボリュームの最小値設定	42
4-34 ズームデマンドからのサーボ方式設定	42
4-35 ズームスピード調整ボリュームの有効 / 無効設定	43
4-36 フォーカスデマンドのカーブ特性設定	43
4-37 フォーカスブリージング補正機能の有効 / 無効設定	44
4-38 バーチャル出力の有効 / 無効設定	44
4-39 カメラからの指令信号の入力経路設定	45
4-40 カメラシリアル通信の有効 / 無効設定	45

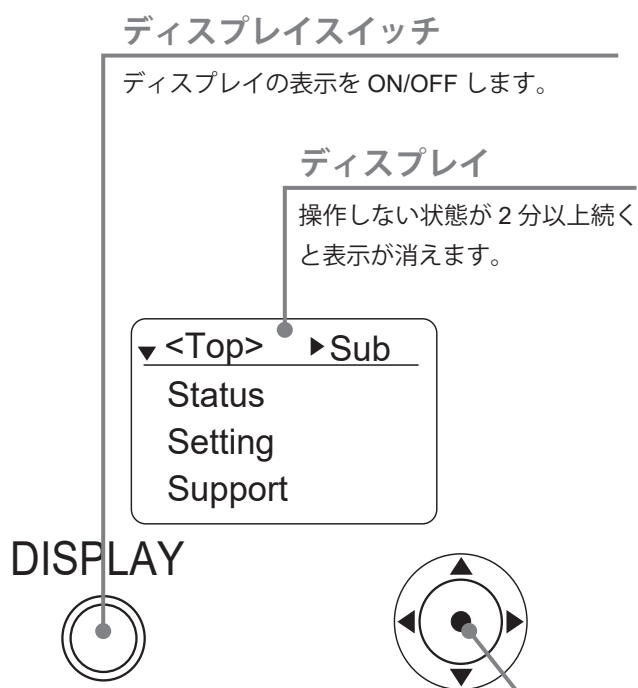
5. Support

46

5 Support 画面.....	46
5-1 シリアルナンバーの表示.....	46
5-2 レンズ名称の表示	47
5-3 ファームウェアの情報表示	47
5-3-1 ファームウェアの更新.....	48
5-4 ログ画面.....	49
5-4-1 ログのエクスポート	50
5-4-2 ログの日付入力.....	51
5-4-3 ログのリセット.....	51
5-4-4 サービスログ画面	52
5-4-4-1 サービスログの設定	52
5-4-4-2 サービスログの記録	53
5-4-4-3 サービスログのエクスポート	54
5-5 倍率色収差補正と光量補正データの通信機能への対応情報.....	55
5-6 メカ端の自動調整	55

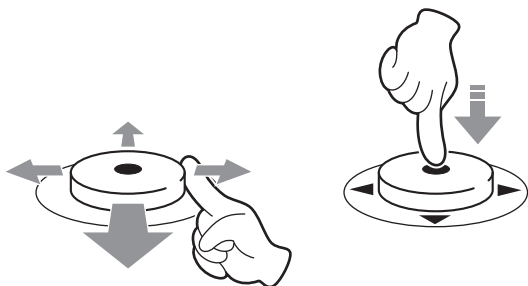
基本操作方法

各部の名称と操作方法



ディスプレイ操作キー

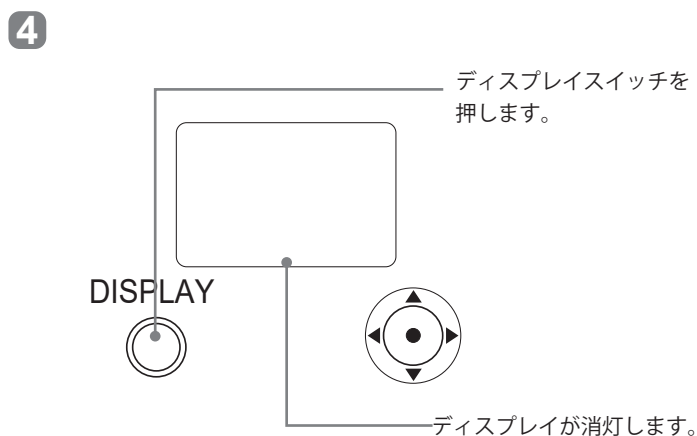
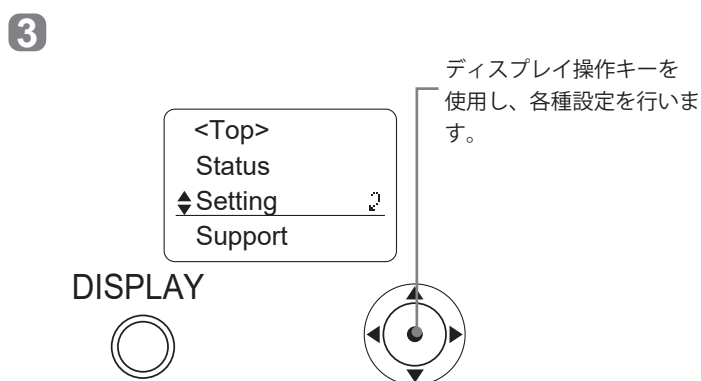
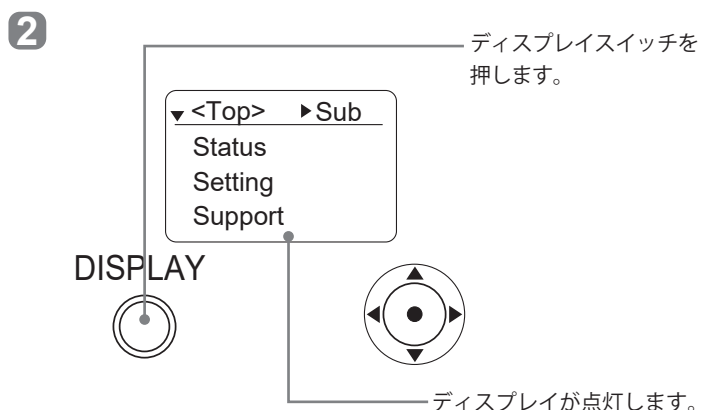
ディスプレイ操作キーを上下左右 (◀▶▲▼) へ倒して動かします。中央部分 (Set) を押して確定します。



記号	名称	操作	詳細
Set	Set キー	押す 	画面表示に『』が出た場合や、選択を確定する際に押します。
	右キー	右方向に倒す 	画面表示に『▶』が出た際にキー操作が有効になります。
	左キー	左方向に倒す 	画面表示に『◀』が出た際にキー操作が有効になります。
	上キー	上方向に倒す 	画面表示に『▲』が出た際にキー操作が有効になります。
	下キー	下方向に倒す 	画面表示に『▼』が出た際にキー操作が有効になります。

基本操作

1 レンズの電源を入れます。

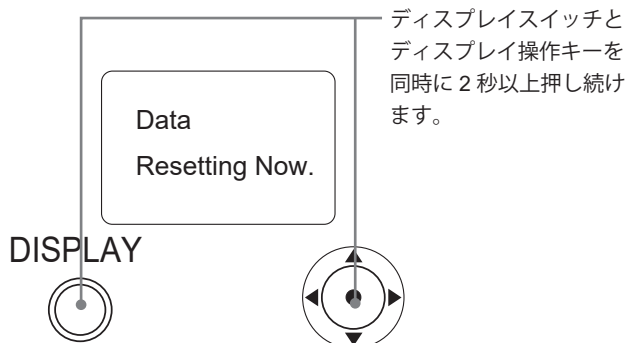


基本操作方法

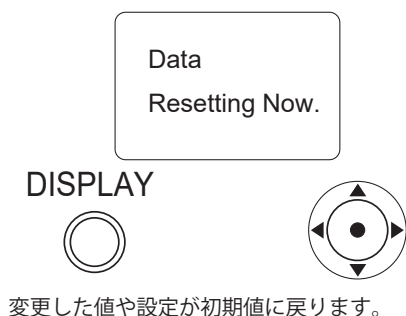
リセット操作

全てのユーザーの設定をリセットし、初期値に戻すことができます。初期値については右記をご覧ください。

1



2



『ご注意ください』

ユーザーロック状態ではリセット操作はできません。ロック状態の解除方法は、「4.Setting 4-8 ロック解除」をご覧ください。

初期値

項目	項目名	初期値
AUX スイッチへの機能割り付け	AUX	Fr1P
AUX1 スイッチへの機能割り付け	AUX1	Shtl
AUX2 スイッチへの機能割り付け	AUX2	Fr1P
VTR スイッチへの機能割り付け	VTR	VTR
RET スイッチへの機能割り付け	RET	RET
アイリス A/M スイッチの動作設定	A/M	Norm
RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え	RET2-8	OFF
フレーミングプリセット 1 の制御対象切り換え	Frame1	Zoom
フレーミングプリセット 2 の制御対象切り換え	Frame2	Zoom
プリセット時のズームスピード設定	Z-speed	800
プリセット時のズーム立ち上がり特性設定	Z-movement:Start	99
プリセット時のズーム止まり際特性設定	Z-movement:Stop	91
アイリストルクの設定	Torque	High
アイリス補正の ON/OFF 切り換え	Ext-Comp	ON
アイリスクローズ検出の ON/OFF 切り換え	Close	OFF
ズームトラックの ON/OFF 切り換え	Tracking	OFF
ズームデマンドからのサーボ方式設定	Ctrl	Speed
ズームスピード調整ボリュームの有効 / 無効設定	Z.S.	Ssaw + Dem
ズームサーボの立ち上がり特性設定	Movement:Start	99
ズームサーボの止まり際特性設定	Movement:Stop	91
ズームメカ端部の止まり際特性設定	Movement:End	99
ズームシーソースイッチのカーブ特性設定	Seesaw	5
アナログズームデマンドのカーブ特性設定	Demand	5
ズームスピード調整ボリュームの最大値設定	SpeedAdj:Max	99
ズームスピード調整ボリュームの最小値設定	SpeedAdj:Min	01
フォーカスデマンドのカーブ特性設定	ADemand	5
フォーカスブリージング補正機能の有効 / 無効設定	FocusBC	OFF
オートアイリスゲインの設定 *	Auto	50
リモートアイリスゲインの設定 *	Remote	90
バーチャル出力の有効 / 無効設定 *	VR-Out	OFF
カメラからの指令信号の入力経路設定 *	I/Fprior	Mount
カメラシリアル通信の有効 / 無効設定 *	CamSeri	Allow

『ご注意ください』

* 印の項目は左記のリセット操作を行ってもリセットされません。リセット前の設定が残ります。

各設定手順のページでは、初期値を下記のように表します。

例 1：初期値が「OFF」の場合

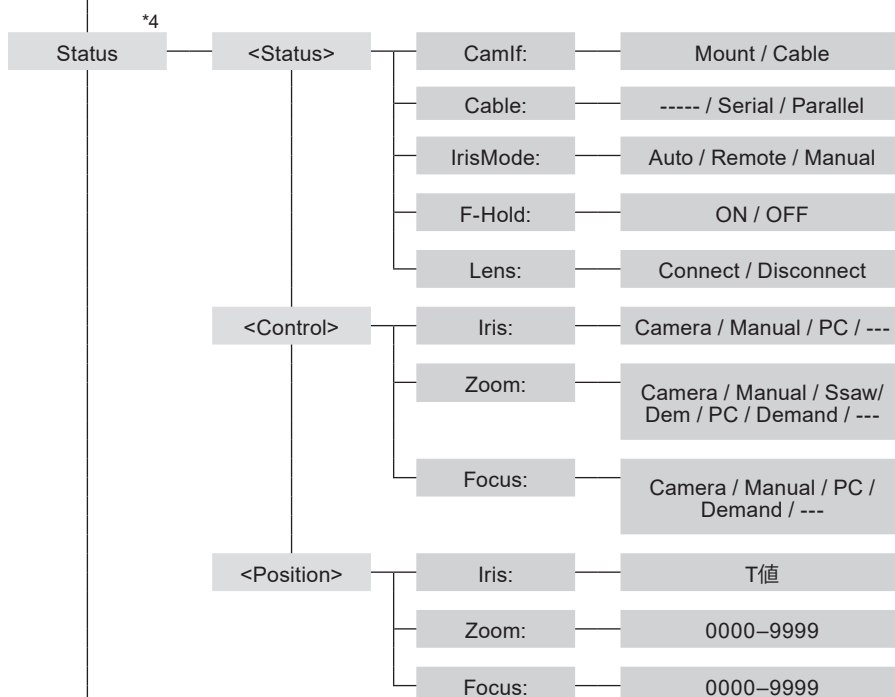
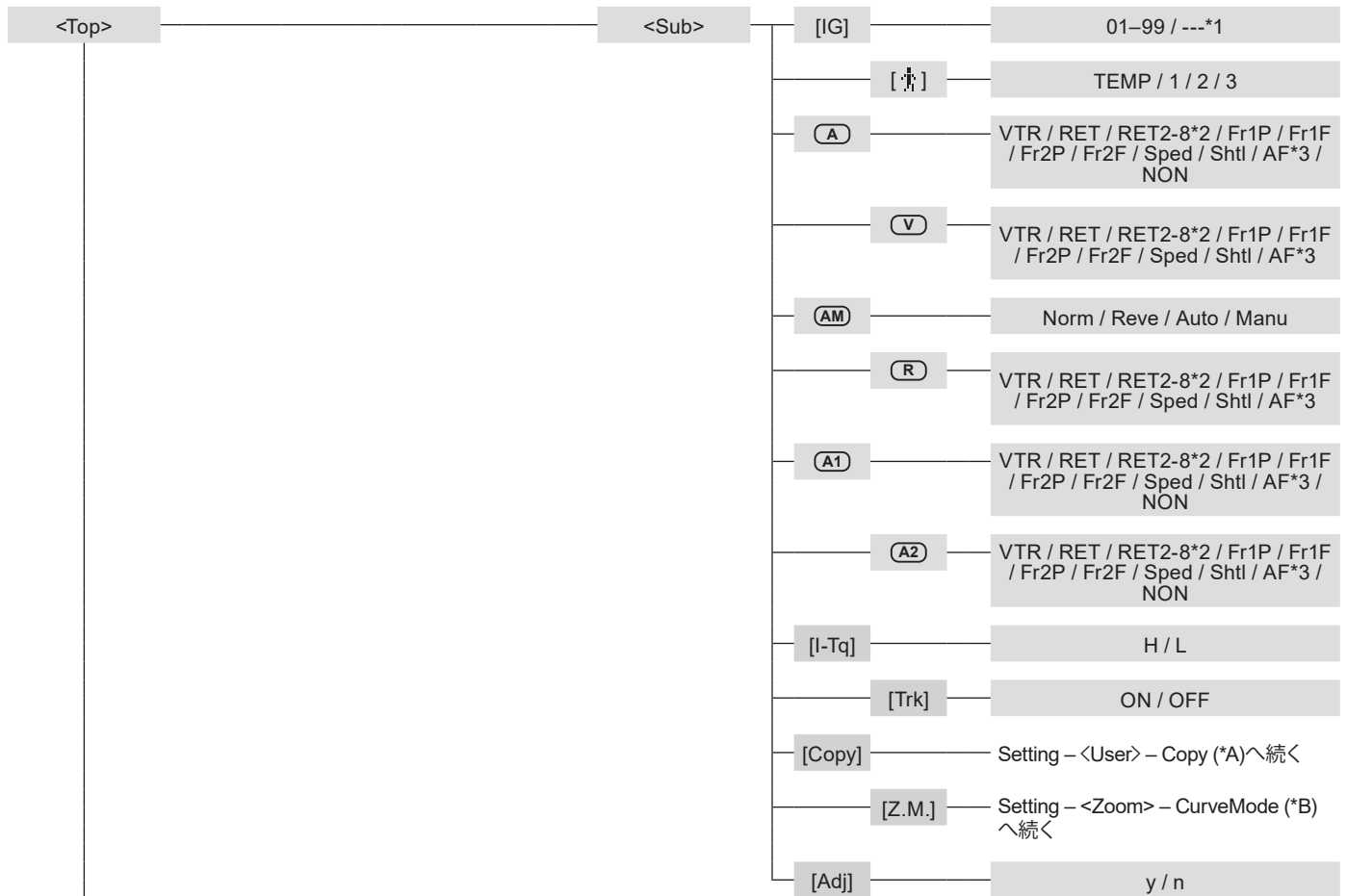
選択項目	ON	OFF
------	----	-----

例 2：初期値が「91」の場合

選択項目	00	-	99
------	----	---	----

初期値：91

ディスプレイメニュー階層



『ご注意ください』

*1: RF マウント製品のみ、RF 通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合に「---」が表示され機能は無効となります。

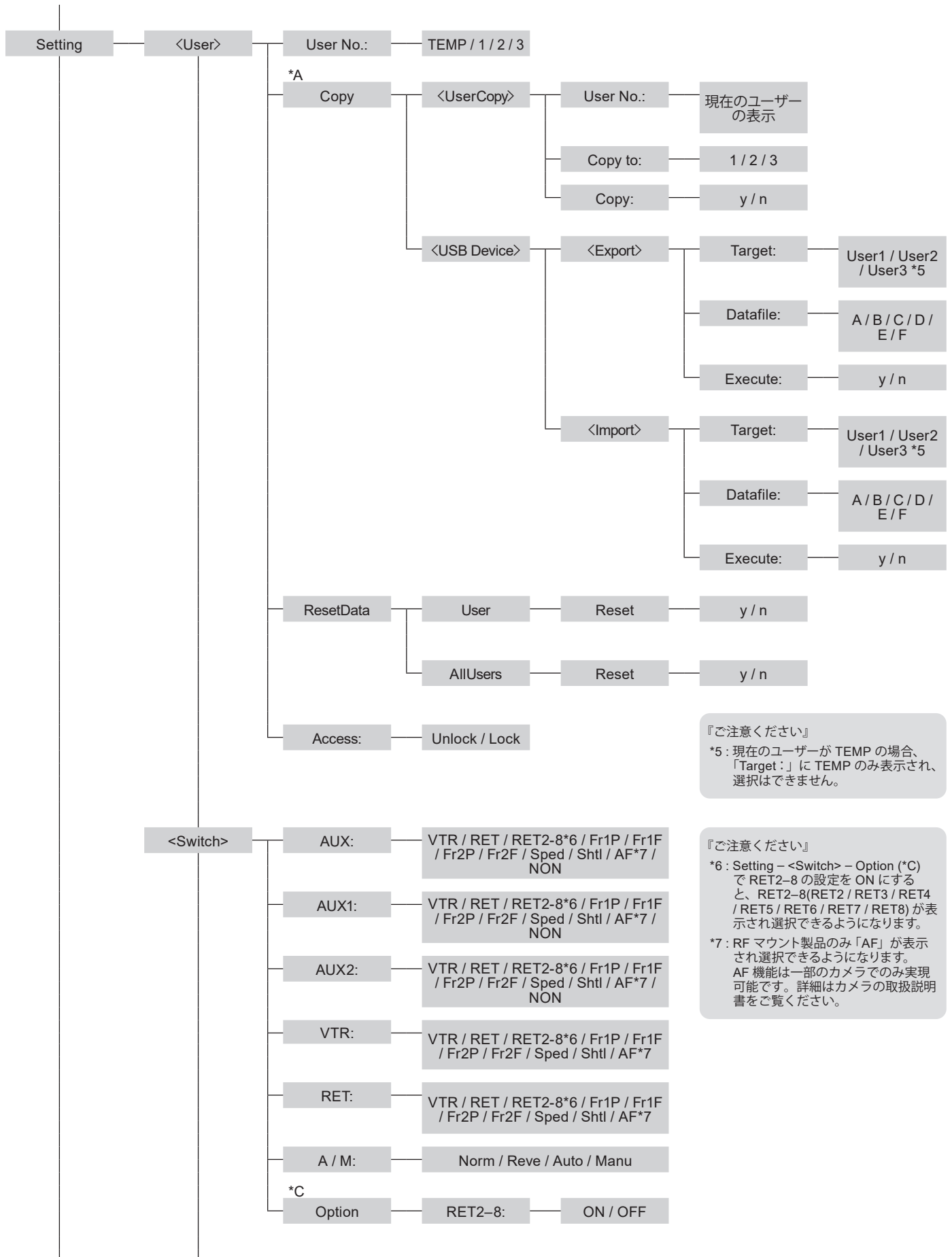
*2: Setting - <Switch> - Option (*C) で RET2-8 の設定を ON にすると、RET2-8(RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*3: RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

『ご注意ください』

*4: Status 内は、カーソルの位置に関係なく、左右キーで <Status>、<Control>、<Position> の間を遷移できます。

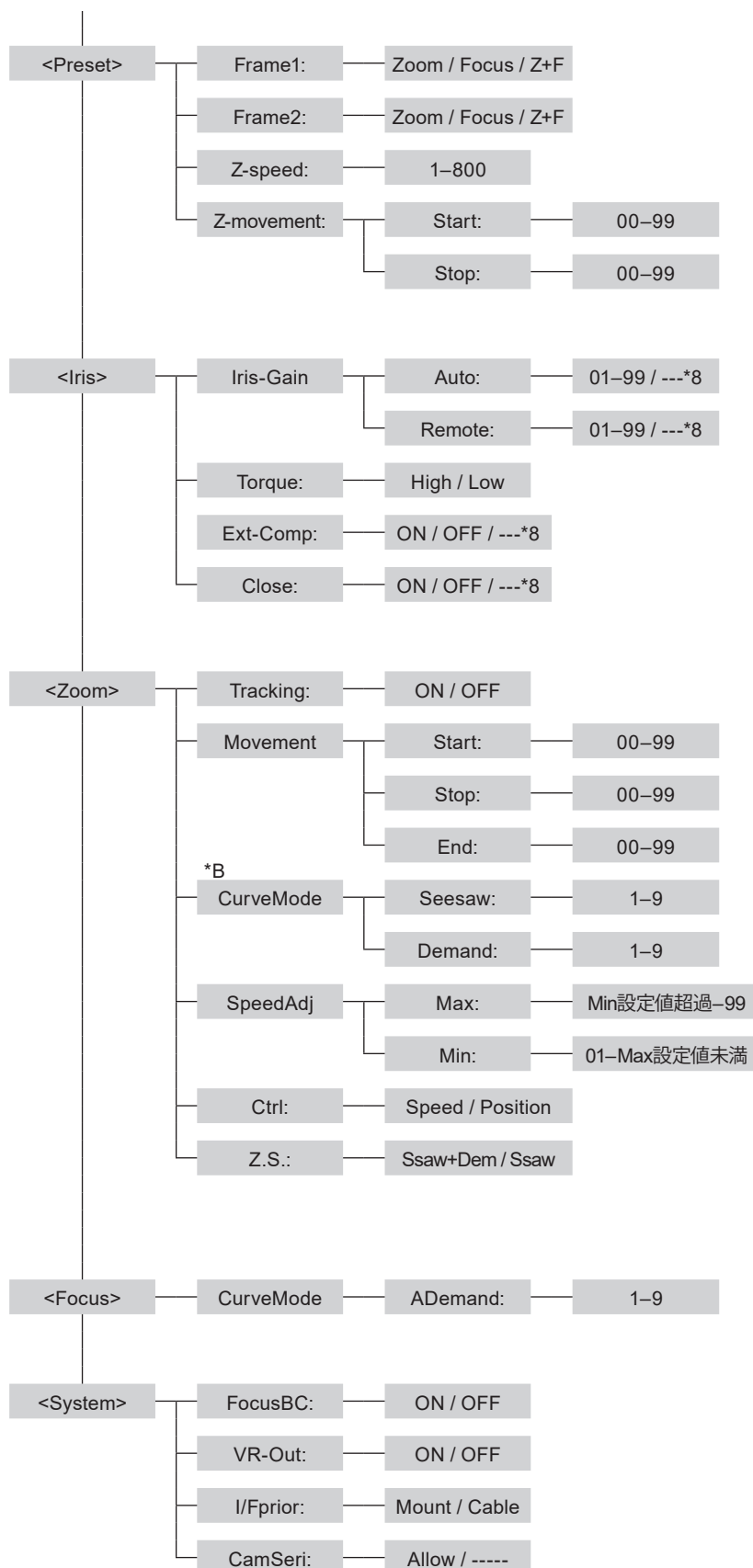
ディスプレイメニュー階層



『ご注意ください』
*5: 現在のユーザーが TEMP の場合、「Target:」に TEMP のみ表示され、選択はできません。

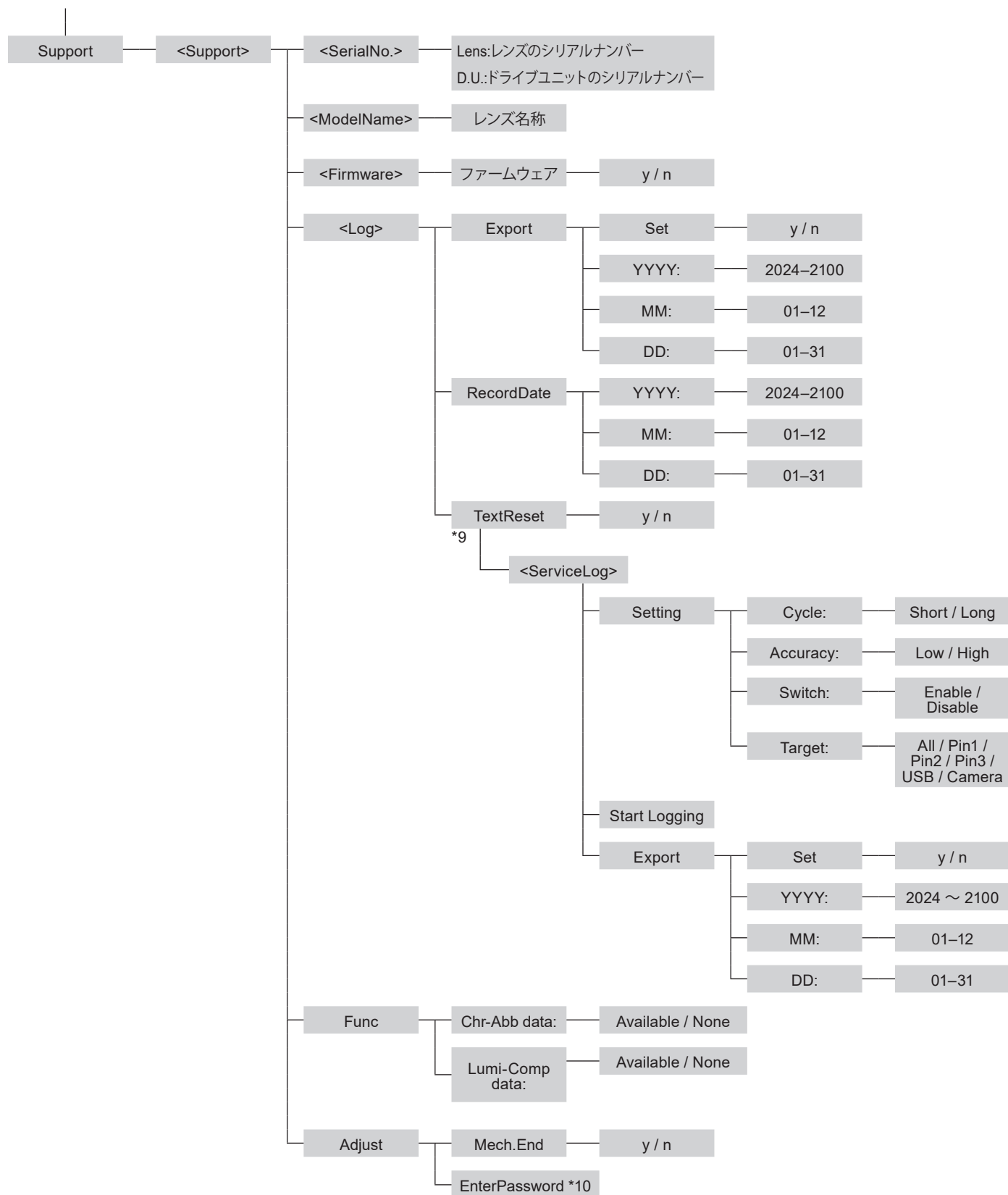
『ご注意ください』
*6: Setting - <Switch> - Option (*C) で RET2-8 の設定を ON にすると、RET2-8(RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。
*7: RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイメニュー階層



『ご注意ください』
*8 : RF マウント製品のみ、RF 通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合に「---」が表示され機能は無効となります。

ディスプレイメニュー階層



『ご注意ください』

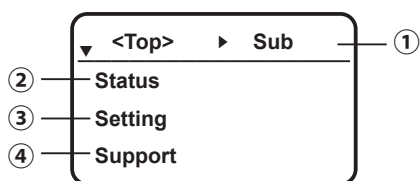
*9 : 左キーを 10 秒以上長押しすると
<ServiceLog> に遷移します。

*10 : サービス専用画面です。

1 Top 画面および各種画面

ディスプレイスイッチを押したときに最初に表示される画面が Top 画面です。各種設定や設定状況の確認を行うことができます。

Top 画面



① Sub Sub 画面

13 種類の設定メニューを表示します。

② Status Status 画面

レンズの状態表示メニューです。
(設定はできません)

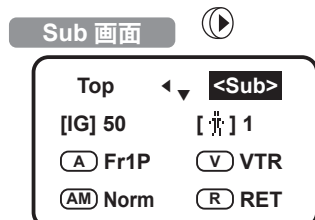
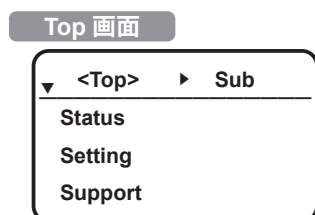
③ Setting Setting 画面

レンズの設定メニューです。

④ Support Support 画面

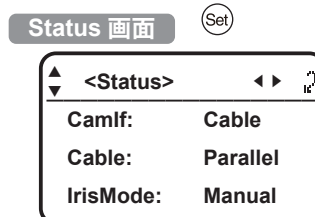
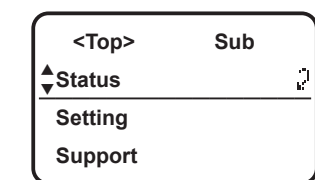
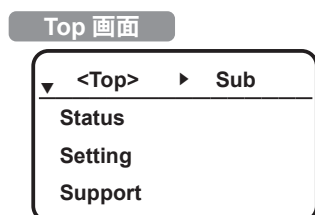
レンズのサポート情報表示メニューです。

① Sub 画面



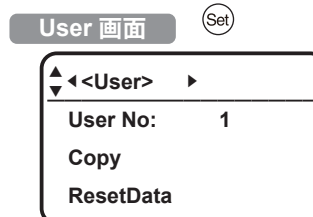
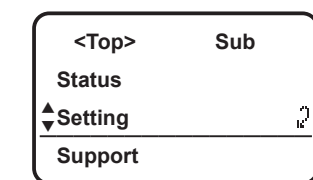
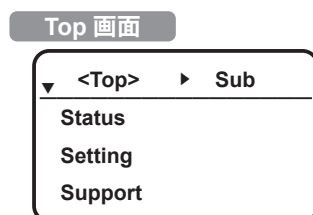
で移動

② Status 画面



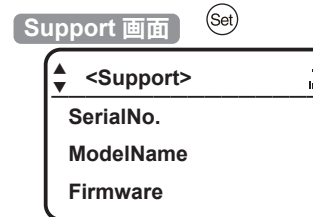
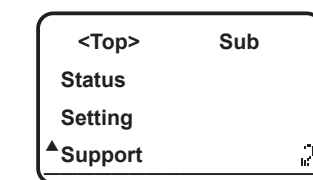
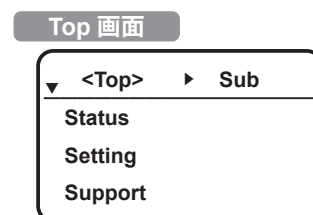
で移動

③ Setting 画面



で移動

④ Support 画面



で移動

Sub

<Sub>

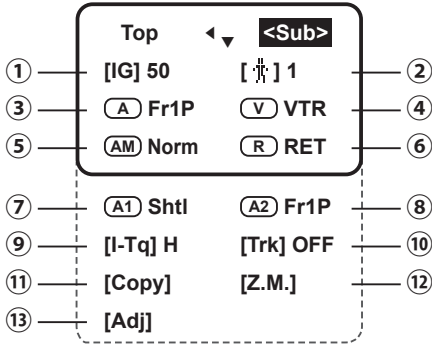
2 Sub 画面

13 種類の設定メニューを表示します。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

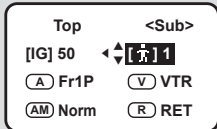
Sub 画面



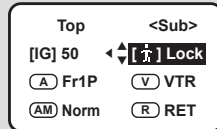
『ご注意ください』

- ③~⑬の表示項目は、非初期値の場合に下線が表示されます。
- Sub 画面の User No. 表示部分に TEMP および 1 / 2 / 3 の数字がある場合は、ロック解除状態を示します。
- Sub 画面の User No. 表示部分に Lock の文字がある場合は、ロック状態を示します。ロック状態の解除方法は、「4.Setting 4-8 ロック解除」をご覧ください。

ロック解除状態



ロック状態



① [IG] オートアイリスゲイン

オートアイリスゲインの設定値を変更することができます。

② [1] ユーザー

使用するユーザー (TEMP / 1 / 2 / 3) の切り換えができます。ユーザーごとの設定を行うときに、User No. を切り換えます。

③ [A] AUX スイッチ

AUX スイッチに機能を割り付けることができます。

④ [V] VTR スイッチ

VTR スイッチに機能を割り付けることができます。

⑤ [AM] アイリス A/M スイッチ

アイリス A/M スイッチの動作を設定することができます。

⑥ [R] RET スイッチ

RET スイッチに機能を割り付けることができます。

⑦ [A1] AUX1 スイッチ

ズームデマンドの AUX1 スイッチに機能を割り付けることができます。

⑧ [A2] AUX2 スイッチ

ズームデマンドの AUX2 スイッチに機能を割り付けることができます。

⑨ [I-Tq] アイリストルク

アイリスリングをマニュアル操作するときの操作力を選択できます。

⑩ [Trk] ズームトラック

ズームトラックの ON/OFF を切り換えることができます。

⑪ [Copy] ユーザー設定のコピー

ユーザーごとに設定した内容を、他のユーザーへコピーすることができます。

⑫ [Z.M.] ズームシーソースイッチ

ズームシーソースイッチの押し込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。

⑬ [Adj] メカ端の自動調整

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

Sub

<Sub> - [IG]

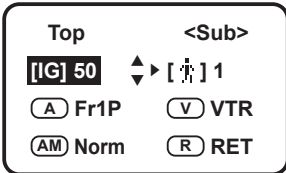
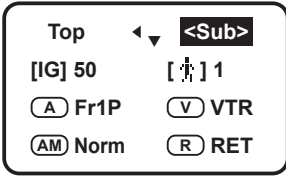
2-1 オートアイリスゲインの設定

オートアイリスゲインの設定値を変更することができます。

『ご注意ください』

オートアイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーに関係なく全てのユーザーに共通で適用されます。そのため、ユーザー切り換えをあらかじめ行う必要はありません。また、例外的に TEMP ユーザーにも設定変更が反映されます。

Sub 画面



(Set) で点滅



(Set) で確定

『ご注意ください』

アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、

→ドライブユニットのアイリス A/M スイッチの設定が [Auto] モードになっていることを確認します。

→カメラのアイリスモードをオートアイリス状態に設定します。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をご確認ください。

『ご注意ください』

レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングがおこらない範囲でゲインが適正になるように設定してください。

『ご注意ください』

オートアイリスゲインの設定値は、4-5、4-6に記載の「設定リセット」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはメモしておくことをお勧めします。

[IG]	オートアイリスゲイン			
選択項目	01	-	99	--- *1
機能	ゲイン最小	-	ゲイン最大	無効
	初期値：50			

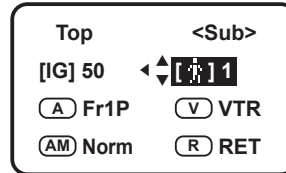
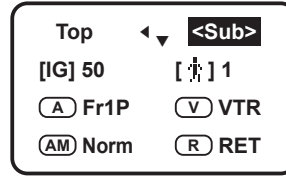
*1：RF マウント製品のみ、RF 通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合に「---」が表示され機能は無効となります。

<Sub> - []

2-2 ユーザーの切り換え

使用するユーザー (TEMP / 1 / 2 / 3) の切り換えができます。ユーザーごとの設定を行うときに、User No. を切り換えます。

Sub 画面



(Set) で点滅

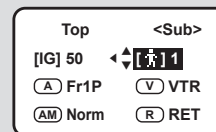


(Set) で確定

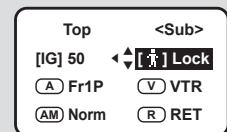
『ご注意ください』

- Sub 画面の User No. 表示部分に TEMP および 1 / 2 / 3 の数字がある場合は、ロック解除状態を示します。
- Sub 画面の User No. 表示部分に Lock の文字がある場合は、ロック状態を示します。ロック状態の解除方法は、「4.Setting 4-8 ロック解除」をご覧ください。

ロック解除状態



ロック状態



[]	ユーザー			
選択項目	TEMP	1	2	3
機能	一時的に設定変更可能	設定の保存可能	設定の保存可能	設定の保存可能

Sub

<Sub> - (A)

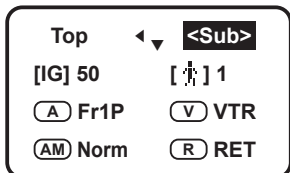
2-3 AUX スイッチへの機能割り付け

AUX スイッチに機能を割り付けることができます。

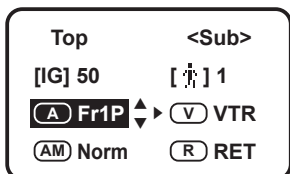
『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



⏴ × 2



(Set) で点滅

(▶) (◀) で選択

(Set) で確定

<Sub> - (V)

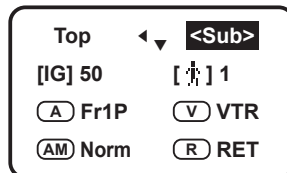
2-4 VTR スイッチへの機能割り付け

VTR スイッチに機能を割り付けることができます。

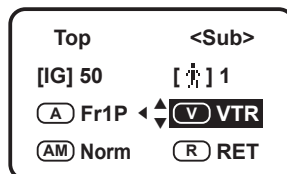
『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



⏴ × 2



(Set) で点滅

(▶) (◀) で選択

(Set) で確定

(A)	AUX スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット1 (最高速度)	フレーミングブ リセット2 (設定速度)	フレーミングブ リセット2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2	NON	
機能	シャトル ショット	オート フォーカス	機能なし	

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

(V)	VTR スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット1 (最高速度)	フレーミングブ リセット2 (設定速度)	フレーミングブ リセット2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2		
機能	シャトル ショット	オート フォーカス		

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

Sub

<Sub> - (AM)

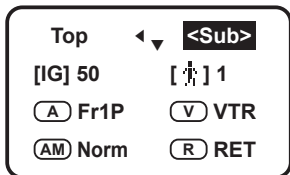
2-5 アイリス A/M スwitchの動作設定

アイリス A/M スwitchの動作を設定することができます。初期設定は A: オート動作、M: マニュアル動作ですが、動作設定を逆転したり、A/M ともにマニュアル動作、またはオート動作に変更できます。

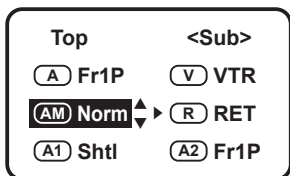
『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



⏴ × 3



(Set) で点滅

(▶) (◀) で選択

(Set) で確定

<Sub> - (R)

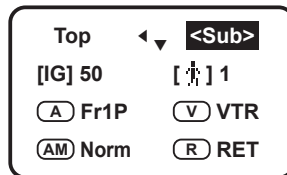
2-6 RET スwitchへの機能割り付け

RET スwitchに機能を割り付けることができます。

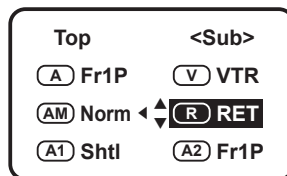
『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



⏴ × 3



(Set) で点滅

(▶) (◀) で選択

(Set) で確定

(AM)	アイリス A/M スwitch			
選択項目	Norm	Reve	Auto*1	Manu*1
動作	標準動作 A: Auto M: Manual	逆転動作 A: Manual M: Auto	オートのみ A: Auto M: Auto	マニュアルのみ A: Manual M: Manual

*1: 動作設定を Auto や Manu にすることで、アイリス A/M スwitchの位置によらず、アイリス動作を固定することができます。

(R)	RET スwitch			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット 1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット 1 (最高速度)	フレーミングブ リセット 2 (設定速度)	フレーミングブ リセット 2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2		
機能	シャトル ショット	オート フォーカス		

*1: 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2: RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

Sub

<Sub> - (A1)

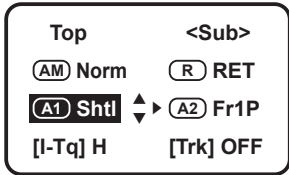
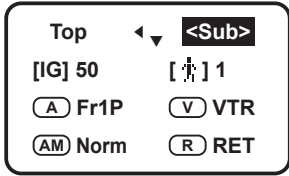
2-7 AUX1 スイッチへの機能割り付け

ズームデマンドの AUX1 スイッチに機能を割り付けることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



<Sub> - (A2)

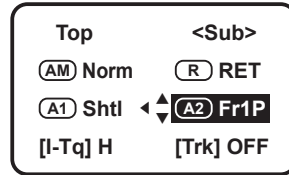
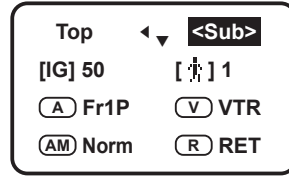
2-8 AUX2 スイッチへの機能割り付け

ズームデマンドの AUX2 スイッチに機能を割り付けることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



(A1)	AUX1 スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット1 (最高速度)	フレーミングブ リセット2 (設定速度)	フレーミングブ リセット2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2	NON	
機能	シャトル ショット	オート フォーカス	機能なし	

(A2)	AUX2 スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット1 (最高速度)	フレーミングブ リセット2 (設定速度)	フレーミングブ リセット2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2	NON	
機能	シャトル ショット	オート フォーカス	機能なし	

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

Sub

<Sub> - [I-Tq]

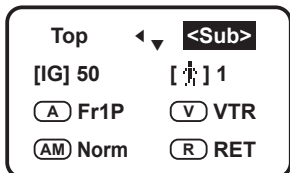
2-9 アイリストルクの設定

アイリスリングをマニュアル操作するときの操作力を選択できます。

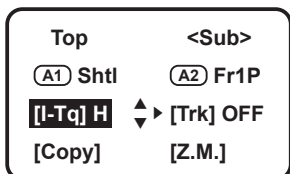
『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



⏮ × 5



⊙ で点滅

⏪ ⏩ で選択

⊙ で確定

<Sub> - [Trk]

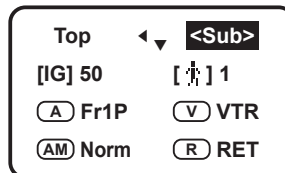
2-10 ズームトラックの ON/OFF 切り換え

ズームトラックの ON/OFF を切り換えることができます。

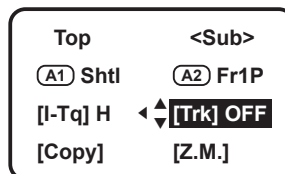
『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面



⏮ × 5



⊙ で点滅

⏪ ⏩ で選択

⊙ で確定

[I-Tq]	アイリストルク	
選択項目	H	L
機能	操作力が重い	操作力が軽い

[Trk]	ズームトラック	
選択項目	ON	OFF
機能	ズームトラック有効	ズームトラック無効

Sub

<Sub> - [Copy]

2-11 ユーザー設定のコピー

ユーザーごとに設定した内容を、他のユーザーへコピーすることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面

Top ◀◀ **<Sub>**

[IG] 50 [] 1

(A) Fr1P (V) VTR

(AM) Norm (R) RET

⏴ × 6

⏵

Top ◀◀ **<Sub>**

[I-Tq] H [Trk] OFF

[Copy] ▶▶ [Z.M.]

[Adj]

(Set)

Copy 画面

<User>

▲▼ Copy

UserCopy

USB Device

*1

⏴

画面 A

<User>

Copy

▲▼ UserCopy

USB Device

(Set)

<UserCopy>

User No.: 1

▲▼ Copy to: ◀ 1 ▶

Copy: y/n

*2

⏴ ⏵ で選択

<UserCopy>

User No.: 1

▲▼ Copy to: ◀ 2 ▶

Copy: y/n

⏴

<UserCopy>

User No.: 1

Copy to: 2

▲ Copy: y / n

⏵

(Set)

画面 A に戻る

『ご注意ください』

*1: USB デバイス (USB メモリー) を使用してユーザー設定をコピーする場合、「USB Device」を選択します。「USB Device 画面」に遷移します。エクスポートは P23、インポートは P24 の「USB Device 画面」以降の手順をご覧ください。

*2: 「User No.」には現在のユーザーを表示しています。ここで現在のユーザーを変更することはできません。

『ご注意ください』

y を選択し Set キーを押すまでは、コピーは実行されません。コピーを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。ユーザーロックされている場合など、コピーを実行できなかった場合も「画面 A」に戻ります。

[Copy]	ユーザー選択		
選択項目	1	2	3

<Sub> - [Z.M.]

2-12 ズームシーソースイッチのカーブ特性設定

ズームシーソースイッチの押込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

Sub 画面

Top ◀◀ **<Sub>**

[IG] 50 [] 1

(A) Fr1P (V) VTR

(AM) Norm (R) RET

⏴ × 6

⏵

Top ◀◀ **<Sub>**

[I-Tq] H [Trk] OFF

[Copy] ◀◀ [Z.M.]

[Adj]

(Set)

Zoom 画面

<Zoom>

▲▼ CurveMode

Seesaw: 5

Demand: 5

⏴

<Zoom>

CurveMode

▲▼ Seesaw: ◀ D5 ▶

Demand: 5

⏵

⏴ ⏵ で選択

[Z.M.]	ズームシーソースイッチのカーブ特性								
選択項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9

Sub

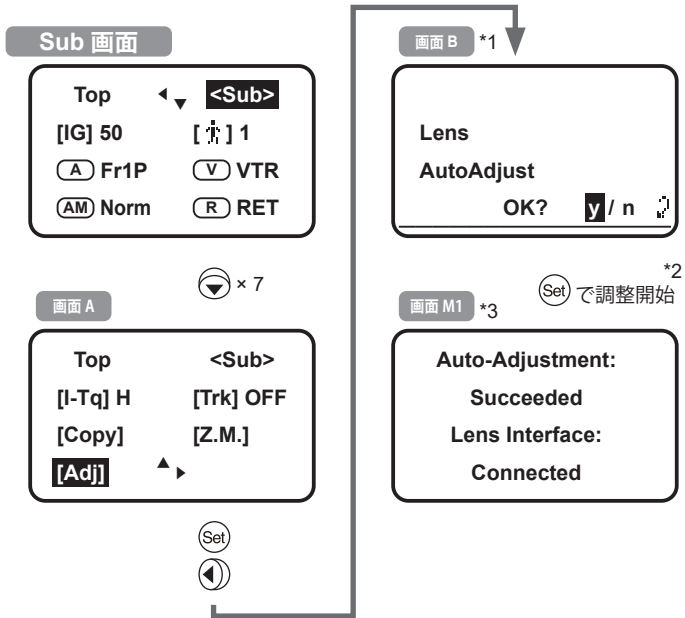
<Sub> - [Adj]

2-13 メカ端の自動調整

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

『ご注意ください』

メカ端の自動調整を行なう前に、ドライブユニット底面部にあるズームサーボ／マニュアル切り換えノブとフォーカスサーボ／マニュアル切り換えノブの両方を SERVO 側にします。



『ご注意ください』

- *1: 「画面 B」で、自動調整を実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。
- *2: メカ端の自動調整中はディスプレイが点滅します。ディスプレイ点滅中は、フォーカスドライブギアやズームドライブギアなどの操作環に手を触れないようにしてください。
- *3: 「画面 M1」以外のメッセージが表示された場合は、下表「メッセージ一覧」をご覧ください。

メッセージ一覧		
画面 M1	Auto-Adjustment: Succeeded Lens Interface: Connected	メカ端自動調整が正常に完了した場合には表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M2	Please Check Servo / Manu OK?	ズームサーボ／マニュアル切り換えノブとフォーカスサーボ／マニュアル切り換えノブの両方または一方が MANU. 側にあるときに表示されます。両方のノブを SERVO 側にして Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M3	Auto-Adjustment: Succeeded Lens Interface: Non-Connected	メカ端自動調整完了時、ドライブユニットとレンズ間の通信が確立していないときに表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M4	Auto-Adjustment: Error Lens Interface: Non-Connected	メカ端自動調整が異常終了したときに表示されます。「画面 M4」が表示された場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M5	Auto-Adjustment: Error Lens Interface: Connected	メカ端自動調整が異常終了時、ドライブユニットとレンズ間の通信が確立しているときに表示されます。「画面 M5」が表示された場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。

Status

<Status> - Camlf / Cable / IrisMode / F-Hold / Lens

3-1 レンズの状態表示 機能

レンズのカメラインターフェース、アイリス動作モード、F-Hold *1 機能の状態を表示します。

Status 画面

<Status>	
Camlf:	Cable
Cable:	Parallel
IrisMode:	Manual
F-Hold:	OFF
Lens:	Disconnect

Camlf:	カメラインターフェース		
表示項目	Mount	Cable	
状態	RF 通信、もしくは PL 通信 (i 通信) でコントロールされている	12pin カメラ IF でコントロールされている	
Cable:	12pin カメラ IF		
表示項目	-----	Serial	Parallel
状態	「Camlf:」が「Mount」で、12pin カメラ IF からの制御が無効となっている	「Camlf:」が「Cable」で、カメラとシリアル通信接続している	「Camlf:」が「Cable」で、カメラとパラレル (アナログ制御) 接続している
IrisMode:	アイリス動作モード		
表示項目	Auto	Remote	Manual
状態	オートアイリス	リモートアイリス	マニュアル
F-Hold:	F-Hold *1		
表示項目	ON	OFF	
状態	ズーム範囲を制限している	ズーム範囲を制限していない	
Lens:	レンズの接続		
表示項目	Connect	Disconnect	
状態	レンズとドライブユニット間の通信が確立されている	レンズとドライブユニット間の通信が確立されていない	

『ご注意ください』

*1 : F-Hold は、リモートアイリスやマニュアルアイリスを使用する場合に、CCU からの指令 F 値より画面が暗くならないように望遠側のズーム範囲を制限する機能です。デマンドでのみ ON/OFF の切り換えができます。

<Status> / <Control> - Iris / Zoom / Focus

3-2 レンズの状態表示 操作元

アイリス、ズーム、フォーカスそれぞれの操作元を表示します。

Status 画面

<Status>	
Camlf:	Cable
Cable:	Parallel
IrisMode:	Manual

Control 画面

<Control>	
Iris:	Manual
Zoom:	Manual
Focus:	Manual

Iris:	アイリスの操作元		
表示項目	Camera	Manual	PC
操作元	カメラ	マニュアル	PC
表示項目	--- *1		
操作元	なし		
Zoom:	ズームの操作元		
表示項目	Camera	Manual	Ssaw/Dem
操作元	カメラ	マニュアル	シーソー / デマンド
表示項目	PC	Demand	--- *1
操作元	PC	デマンド	なし
Focus:	フォーカスの操作元		
表示項目	Camera	Manual	PC
操作元	カメラ	マニュアル	PC
表示項目	Demand	--- *1	
操作元	デマンド	なし	

『ご注意ください』

*1 : 電動操作不可、操作元なし、サーボ OFF のときは、「---」と表示されます。ただしズームは、電動操作可能な場合にデマンド未接続状態でも「Ssaw/Dem」と表示されます。

Status

<Status> / <Position> - Iris / Zoom / Focus

3-3 レンズの状態表示 _ 位置

アイリス、ズーム、フォーカスそれぞれの相対位置を表示します。

Status 画面

<Status>	
Camlf:	Cable
Cable:	Parallel
IrisMode:	Manual

Position 画面

<Position>	
Iris:	T2.95
Zoom:	2598
Focus:	6302

Iris:	アイリスの位置		
表示項目	T 値 *1		
Zoom:	ズームの相対位置		
表示項目	0000	-	9999
Focus:	フォーカスの相対位置		
表示項目	0000	-	9999

『ご注意ください』

*1: T 値は、T ナンバーを示す「T」の後に有効数字 2 桁（開放値は 3 桁）を表示します。

Setting

<User> - User No. Sub

4-1 ユーザーの切り換え

使用するユーザー（TEMP / 1 / 2 / 3）の切り換えができます。ユーザーごとの設定を行うときに User No. を切り換えます。

『ご注意ください』

「TEMP」ユーザー選択時に変更した設定は、ユーザー切り換え操作またはレンズ電源 OFF 操作で初期値に戻ります。各種設定変更を記憶させたい場合は、ユーザー 1 / 2 / 3 のいずれかを選択してください。

User 画面

<<User> >>

User No.: 1

Copy

ResetData



<User>

▲ User No.: ◀ 1 ▶

Copy

ResetData

(▶◀) で選択

<User> - Copy - <UserCopy> - Copy to Sub

4-2 ユーザー設定のコピー

ユーザーごとに設定した内容を、他のユーザーへコピーすることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

<<User> >>

User No.: 1

Copy

ResetData

× 2

<User>

User No.: 1

▲ Copy

ResetData

Copy 画面

Set

<User>

▲ Copy

UserCopy

USB Device

▼

『ご注意ください』

「User No.」には現在のユーザーを表示しています。ここで現在のユーザーを変更することはできません。

画面 A

<User>

Copy

▲ UserCopy

USB Device

Set

<UserCopy>

User No.: 1

▲ Copy to: ◀ 1 ▶

Copy: y/n

(▶◀) で選択

<UserCopy>

User No.: 1

▲ Copy to: ◀ 2 ▶

Copy: y/n

▼

<UserCopy>

User No.: 1

Copy to: 2

▲ Copy: y / n

◀

<UserCopy>

User No.: 1

Copy to: 2

▲ Copy: y / n

Set

画面 A に戻る

『ご注意ください』

y を選択し Set キーを押すまでは、コピーは実行されません。コピーを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。ユーザーロックされている場合など、コピーを実行できなかった場合も「画面 A」に戻ります。

User No.	ユーザー			
選択項目	TEMP	1	2	3
機能	一時的に 設定変更可能	設定の 保存可能	設定の 保存可能	設定の 保存可能

Copy to	ユーザー選択		
選択項目	1	2	3

Setting

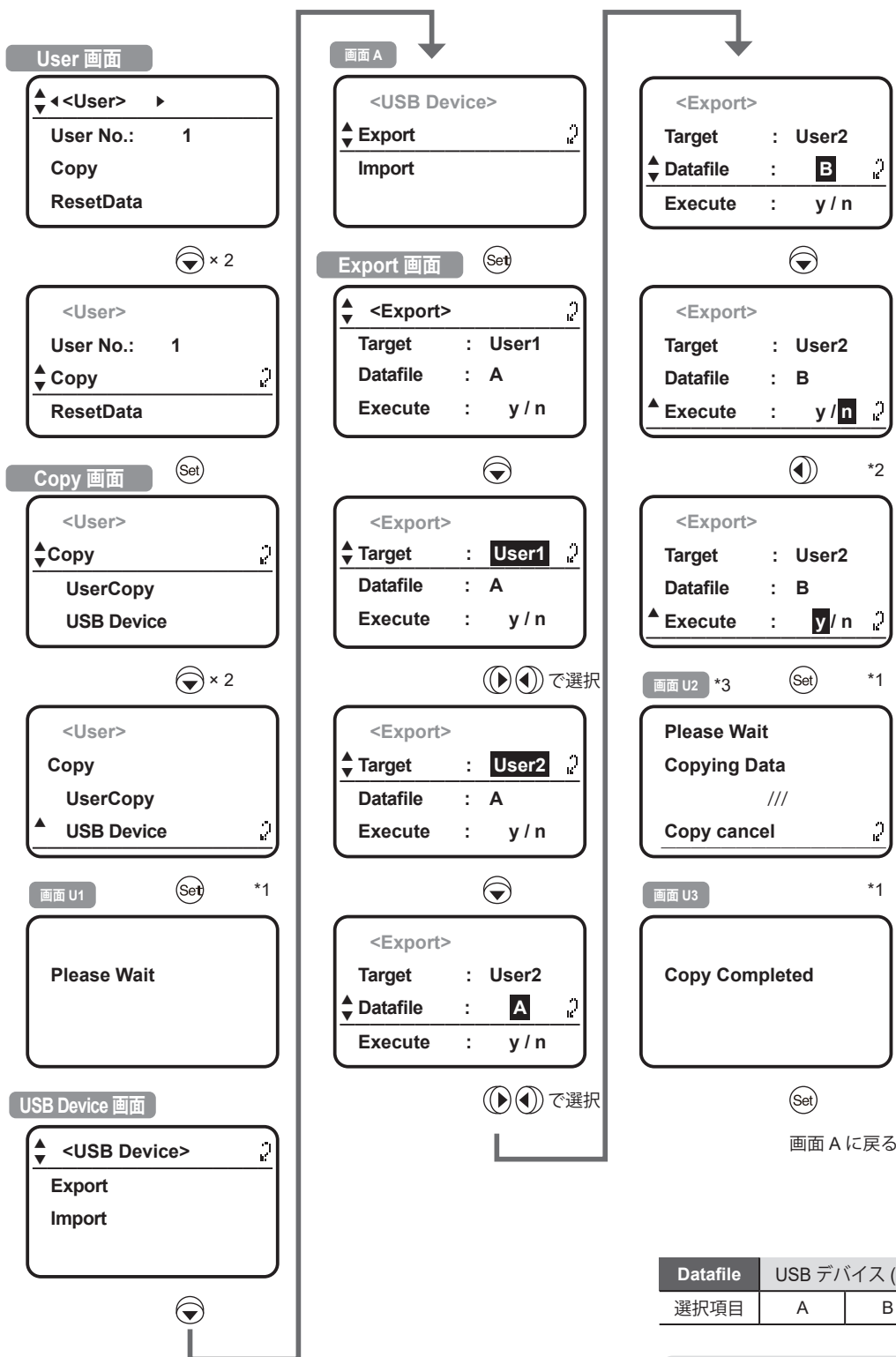
<User> - Copy - <USB Device> - <Export> - Target / Datafile / Execute

4-3 ユーザー設定のエクスポート

ユーザーごとに設定した内容を、USB デバイス (USB メモリー) にエクスポートすることができます。エクスポートしたユーザー設定を別の機材にインポートすることで、異なる機材を同じ設定で利用することができます。ユーザーロック状態のときもエクスポートは可能です。

『ご注意ください』

1. 操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。
2. ユーザー設定のエクスポート中は、USB デバイス (USB メモリー) を抜いたり、製品の電源を切ったりしないでください。



『ご注意ください』

- *1: 「画面 U1」、「画面 U2」、「画面 U3」以外のメッセージが表示された場合は、25 ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。
- *2: y を選択し Set キーを押すまでは、エクスポートは実行されません。エクスポートを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。
- *3: 「画面 U2」で、エクスポートをキャンセルする場合は、Set キーを押してください。

Datafile	USB デバイス (USB メモリー) にエクスポートするファイル名					
選択項目	A	B	C	D	E	F

Target	コピー元となるユーザー		
選択項目 *4	User1	User2	User3

*4: 現在のユーザーが TEMP の場合、「Target:」に TEMP のみ表示され、選択はできません。

『ご注意ください』

- USB デバイス (USB メモリー) のルートディレクトリにファイルがエクスポートされます。
- エクスポートされるファイル名には、A-F の前に「DUdata」、後ろに「.bin」が入ります。
(例: ファイル A の場合: DUdataA.bin、ファイル B の場合: DUdataB.bin)

Setting

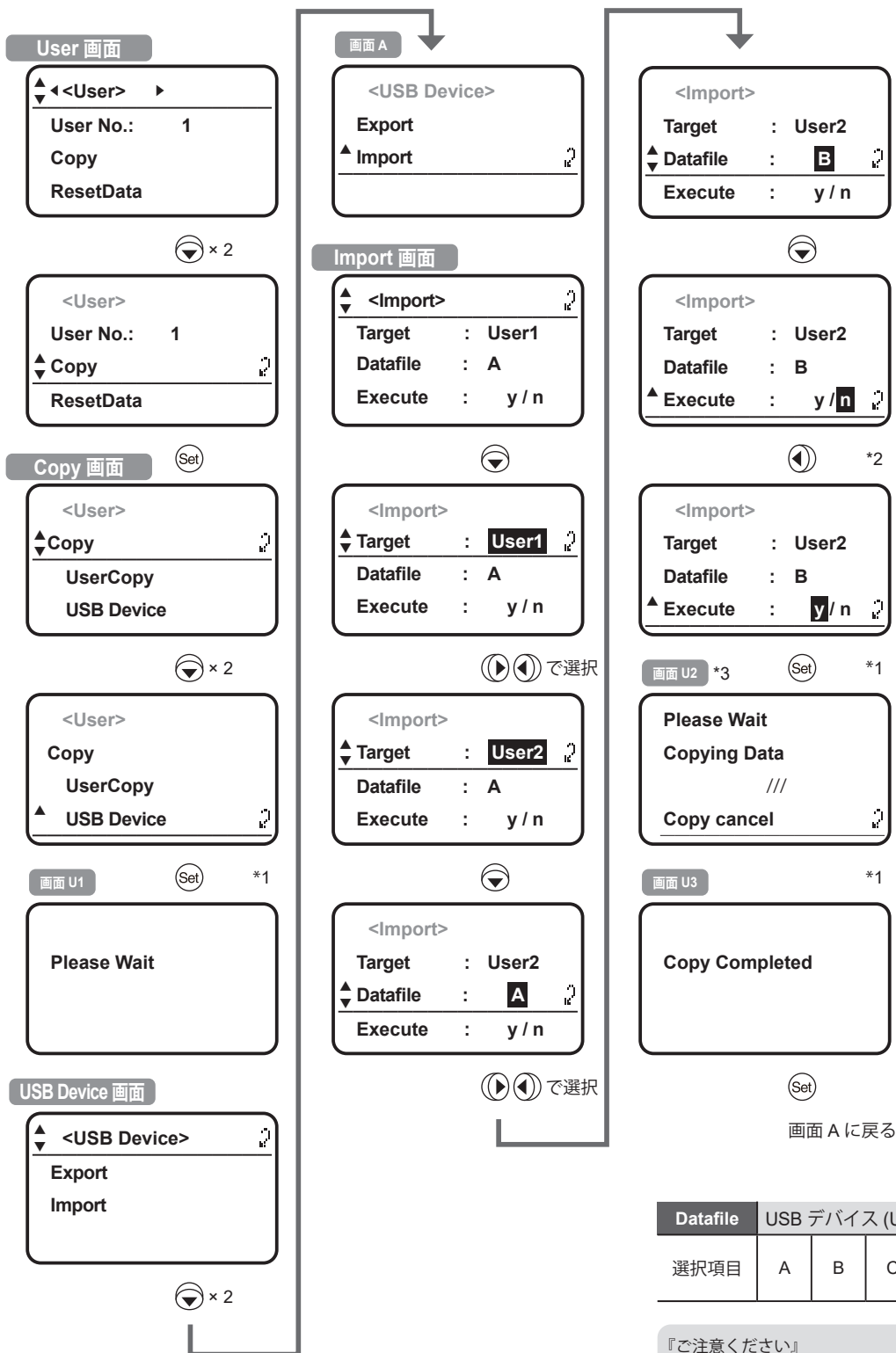
<User> - Copy - <USB Device> - <Import> - Target / Datafile / Execute

4-4 ユーザー設定のインポート

USB デバイス (USB メモリー) にエクスポートしたユーザー設定を別の機材にインポートすることができます。異なる機材を同じ設定で利用することができます。

『ご注意ください』

1. 操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り替え」をご覧ください。
2. ユーザーロック状態ではユーザー設定のインポートをすることはできません。操作を行う前に「4-8 ロックの解除」をご覧ください。ロックを解除してください。
3. ユーザー設定のインポート中は、USB デバイス (USB メモリー) を抜いたり、製品の電源を切ったりしないでください。



『ご注意ください』

- *1: 「画面 U1」、「画面 U2」、「画面 U3」以外のメッセージが表示された場合は、25 ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。
- *2: y を選択し Set キーを押すまでは、インポートは実行されません。インポートを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「USB Device 画面」に戻ります。ユーザーロックされている場合など、インポートを実行できなかった場合も「USB Device 画面」に戻ります。
- *3: 「画面 U2」で、インポートをキャンセルする場合は、Set キーを押してください。

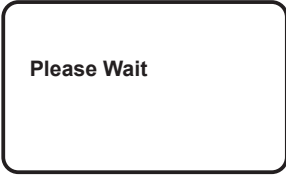
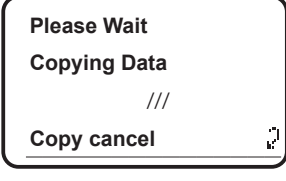
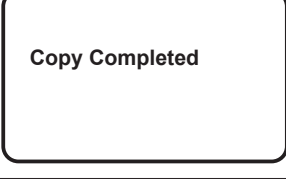
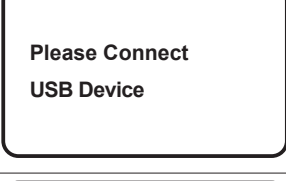
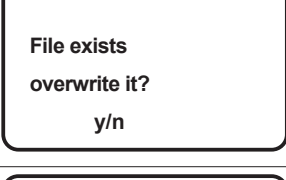
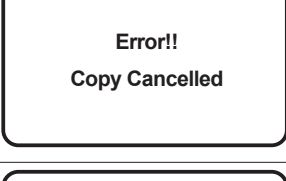
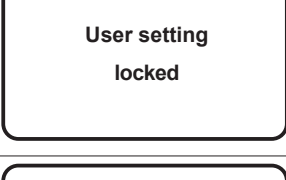
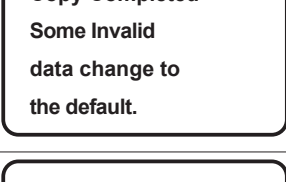
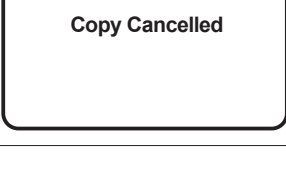
Target	インポート先となるユーザー		
選択項目 *4	User1	User2	User3

Datafile	USB デバイス (USB メモリー) からインポートするファイル名						
選択項目	A	B	C	D	E	F	---
							(該当のファイルが存在しない場合)

『ご注意ください』

- USB デバイス (USB メモリー) のルートディレクトリにあるファイルをインポートします。
- 「---」が表示された場合、ルートディレクトリにファイルがあるかどうかご確認ください。A-F の前に「DUdata」、後ろに「.bin」が付いたファイルのみインポートできます。(例: ファイル A の場合: DUdataA.bin、ファイル B の場合: DUdataB.bin)

ユーザー設定のエクスポート、インポート時のメッセージ

メッセージ一覧		
画面 U1		USB デバイス (USB メモリー) にアクセスする際、USB デバイス (USB メモリー) へのアクセスを終了する際に表示されます。 ディスプレイスイッチを押して消灯する際、自動消灯の際にも表示されます。 いずれも自動で画面が消灯します。
画面 U2		ユーザー設定のエクスポートまたはインポート中に表示されます。 エクスポートまたはインポート中、「--」、「///」、「 」、「***」の記号が繰り返し表示されます。 エクスポートまたはインポート完了後に消えます。 キャンセルする場合は、Set キーを押してください。「画面 U9」を表示しコピーを中止します。
画面 U3		エクスポートまたはインポート完了時に表示されます。 Set キーを押すと「USB Device 画面」に戻ります。
画面 U4		USB デバイス (USB メモリー) が接続されていない場合や、通信が確認できない場合に表示されます。 USB デバイス (USB メモリー) が接続されているか、お使いの USB デバイス (USB メモリー) の仕様が適しているかご確認ください。仕様については、レンズ編「6-2. USB デバイス (USB メモリー) 仕様」をご覧ください。 Set キーを押すと「USB Device 画面」に戻ります。
画面 U5		エクスポート時に USB デバイス (USB メモリー) 内に指定のファイルが存在する場合に表示されます。 USB デバイス (USB メモリー) 内の指定ファイルに上書きする場合は、y を選択して Set キーを押してください。「USB Device 画面」に戻ります。 USB デバイス (USB メモリー) 内の指定ファイルに上書きしたくない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「USB Device 画面」に戻ります。
画面 U6		コピーがエラー終了した場合に表示されます。 Set キーを押してください。「USB Device 画面」に戻ります。
画面 U7		ユーザー設定のインポート時に、ユーザーロックされている場合に表示されます。 現ユーザーロック中はインポートができません。Set キーを押して矢印の画面に戻り、Lock を解除してからインポートしてください。
画面 U8		コピーは完了しましたが、インポートデータに無効な値があった場合に表示されます。 「AUX」、「AUX1」、「AUX2」、「VTR」、「RET」に RET2-8 (RET2/RET3/RET4/RET5/RET6/RET7/RET8) を割り付ける設定が OFF のとき、インポートデータに RET2-8 の機能を割り付ける設定があった場合、それぞれの設定が初期値に戻ります。
画面 U9		コピーをキャンセルした場合に表示されます。 Set キーを押すと「USB Device 画面」に戻ります。

Setting

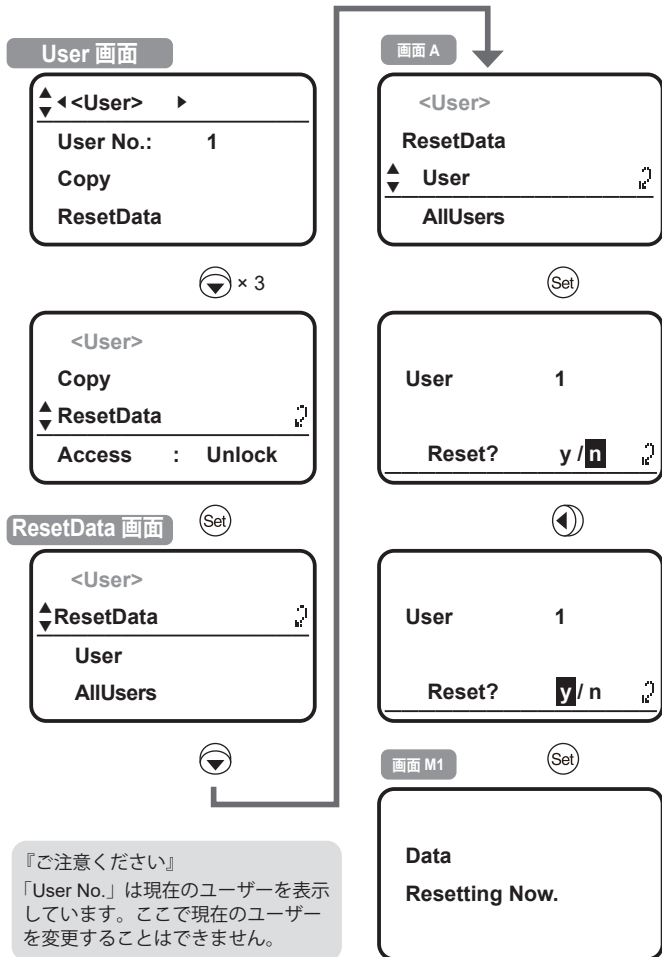
<User> - ResetData - User

4-5 各ユーザー設定のリセット

ひとつのユーザー設定の内容をリセットし、初期値に戻すことができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。



『ご注意ください』

「User No.」は現在のユーザーを表示しています。ここで現在のユーザーを変更することはできません。

画面 A に戻る

『ご注意ください』

アイリスゲイン値 [Auto] / [Remote]、バーチャル出力の有効 / 無効設定 [VR-Out]、カメラシリアル通信の有効 / 無効設定 [CamSer] はリセットされません。リセット前の値が残ります。

『ご注意ください』

y を選択し Set キーを押すまでは、リセットは実行されません。リセットを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。ユーザーロックされている場合など、リセットを実行できなかった場合も「画面 A」に戻ります。

メッセージ	
画面 M1	Data Resetting Now. データのリセット中に表示されます。

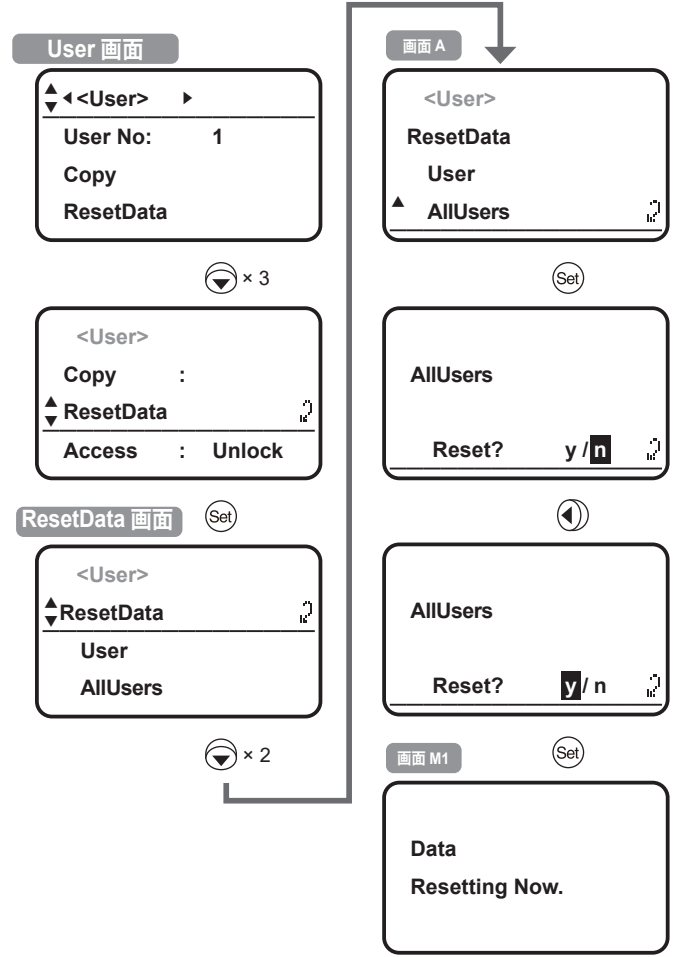
<User> - ResetData - AllUsers

4-6 全ユーザー設定のリセット

全てのユーザー設定の内容をリセットし、初期値に戻すことができます。

『ご注意ください』

ユーザー切り換えをあらかじめ行う必要はありません。



画面 A に戻る

『ご注意ください』

アイリスゲイン値 [Auto] / [Remote]、バーチャル出力の有効 / 無効設定 [VR-Out]、カメラシリアル通信の有効 / 無効設定 [CamSer] はリセットされません。リセット前の値が残ります。

『ご注意ください』

y を選択し Set キーを押すまでは、リセットは実行されません。リセットを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。ユーザーロックされている場合など、リセットを実行できなかった場合も「画面 A」に戻ります。

メッセージ	
画面 M1	Data Resetting Now. データのリセット中に表示されます。

Setting

<User> - Access

4-7 ロック設定

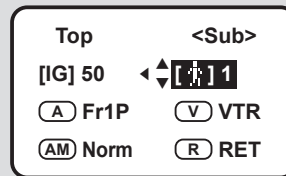
任意に設定した値や機能を容易に変更できないようにロックすることができます。ロック設定はユーザーごとではなく、全ユーザーに適用されます。そのためユーザー切り換えをあらかじめ行う必要はありません。

『ご注意ください』

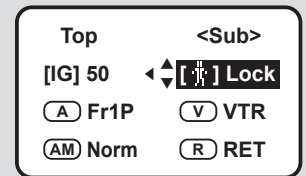
- Sub 画面の User No. 表示部分に TEMP および 1/2/3 の数字がある場合は、ロック解除状態を示します。
- Sub 画面の User No. 表示部分に Lock の文字がある場合は、ロック状態を示します。
- ロック状態では下記項目のみ設定が可能で、それ以外の設定はできなくなります。
 - プリセットデータ (シャトルショット位置、フレーミングプリセット位置、プリセットスピード) の設定
 - ズームトラックの位置および ON/OFF 設定
 - オートアイリスゲイン設定

Sub 画面

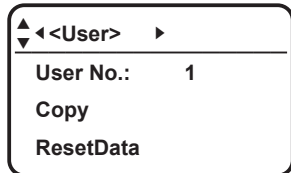
ロック解除状態



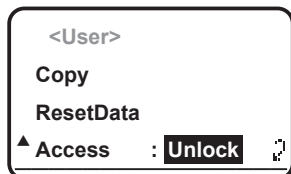
ロック状態



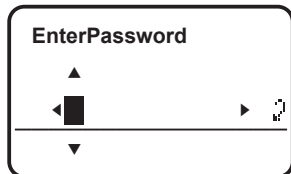
User 画面



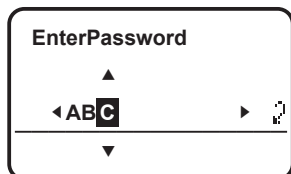
画面 A × 4



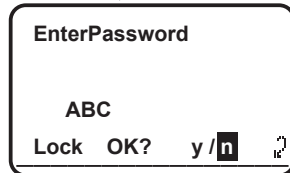
Set



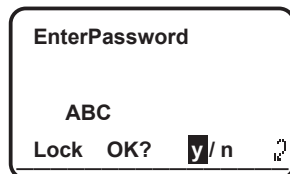
で選択 () で移動



Set



Set



Set



『ご注意ください』

ロック設定を行う際に入力したパスワードが、ロック解除時のパスワードになります。したがって、パスワードは忘れないようにメモを取っておくなどしてください。パスワードを忘れた場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。

『ご注意ください』

y を選択し Set キーを押すまでは、ロック設定は実行されません。ロック設定を実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。

Password	パスワード入力可能文字
選択文字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789-
文字数	最大 8 文字まで

初期値：未入力

Setting

<User> / <Switch> - AUX

Sub

4-9 AUX スイッチへの機能割り付け

AUX スイッチに機能を割り付けることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

Switch 画面

で選択

AUX	AUX スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブリセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブリセット1 (最高速度)	フレーミングブリセット2 (設定速度)	フレーミングブリセット2 (最高速度)	スピードプリセット
選択項目	Shtl	AF *2	NON	
機能	シャトルショット	オートフォーカス	機能なし	

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

<User> / <Switch> - AUX1

Sub

4-10 AUX1 スイッチへの機能割り付け

ズームデマンドの AUX1 スイッチに機能を割り付けることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

Switch 画面

で選択

AUX1	AUX1 スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブリセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブリセット1 (最高速度)	フレーミングブリセット2 (設定速度)	フレーミングブリセット2 (最高速度)	スピードプリセット
選択項目	Shtl	AF *2	NON	
機能	シャトルショット	オートフォーカス	機能なし	

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

Setting

<User> / <Switch> - AUX2 Sub

4-11 AUX2 スイッチへの機能割り付け

ズームデマンドの AUX2 スイッチに機能を割り付けることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

```

<<User> >
-----
User No.: 1
Copy
ResetData
    
```

Switch 画面

```

<<Switch> >
-----
(A) AUX: Fr1P
(A1) AUX1: Shtl
(A2) AUX2: Fr1P
    
```

⏪ × 3

```

<Switch>
-----
(A1) AUX1: Shtl
(A2) AUX2: <Fr1P>
(V) VTR: VTR
    
```

⏩ ⏪ で選択

AUX2	AUX2 スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット1 (最高速度)	フレーミングブ リセット2 (設定速度)	フレーミングブ リセット2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2	NON	
機能	シャトル ショット	オート フォーカス	機能なし	

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

<User> / <Switch> - VTR Sub

4-12 VTR スイッチへの機能割り付け

VTR スイッチに機能を割り付けることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

```

<<User> >
-----
User No.: 1
Copy
ResetData
    
```

Switch 画面

```

<<Switch> >
-----
(A) AUX: Fr1P
(A1) AUX1: Shtl
(A2) AUX2: Fr1P
    
```

⏪ × 4

```

<Switch>
-----
(A2) AUX2: Fr1P
(V) VTR: <VTR>
(R) RET: RET
    
```

⏩ ⏪ で選択

VTR	VTR スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット1 (最高速度)	フレーミングブ リセット2 (設定速度)	フレーミングブ リセット2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2		
機能	シャトル ショット	オート フォーカス		

*1 : 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2 : RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

Setting

<User> / <Switch> - RET Sub

4-13 RET スイッチへの機能割り付け

RET スイッチに機能を割り付けることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

```

▲◀◀<User> ▶▶
▼
User No.: 1
Copy
ResetData
    
```

Switch 画面

```

▲◀◀<Switch> ▶▶
▼
(A) AUX: Fr1P
(A1) AUX1: Shtl
(A2) AUX2: Fr1P
    
```

⏪ × 5

```

<Switch>
(V) VTR: VTR
(R) RET: ◀RET▶
(AM) A/M: Norm
    
```

⏩⏪ で選択

<User> / <Switch> - A/M Sub

4-14 アイリス A/M スwitchの動作設定

アイリス A/M スwitchの動作を設定することができます。初期設定は A: オート動作、M: マニュアル動作ですが、動作設定を逆転したり、A/M ともにマニュアル動作、またはオート動作に変更できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

```

▲◀◀<User> ▶▶
▼
User No.: 1
Copy
ResetData
    
```

Switch 画面

```

▲◀◀<Switch> ▶▶
▼
(A) AUX: Fr1P
(A1) AUX1: Shtl
(A2) AUX2: Fr1P
    
```

⏪ × 6

```

<Switch>
(R) RET: RET
(AM) A/M: ◀Norm▶
Option
    
```

⏩⏪ で選択

RET	RET スイッチ			
選択項目	VTR	RET	RET2-8 *1	Fr1P
機能	VTR	RET	RET2-8	フレーミングブ リセット 1 (設定速度)
選択項目	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped
機能	フレーミングブ リセット 1 (最高速度)	フレーミングブ リセット 2 (設定速度)	フレーミングブ リセット 2 (最高速度)	スピード プリセット
選択項目	Shtl	AF *2		
機能	シャトル ショット	オート フォーカス		

*1: 「4.Setting 4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定を ON にすると、RET2-8 (RET2 / RET3 / RET4 / RET5 / RET6 / RET7 / RET8) が表示され選択できるようになります。

*2: RF マウント製品のみ「AF」が表示され選択できるようになります。AF 機能は一部のカメラでのみ実現可能です。詳細はカメラの取扱説明書をご覧ください。

A/M	アイリス A/M スwitch			
選択項目	Norm	Reve	Auto*1	Manu*1
動作	標準動作 A: Auto M: Manual	逆転動作 A: Manual M: Auto	オートのみ A: Auto M: Auto	マニュアルのみ A: Manual M: Manual

*1: 動作設定を Auto や Manu にすることで、アイリス A/M スwitchの位置によらず、アイリス動作を固定することができます。

Setting

<User> / <Switch> - Option - RET2-8

4-15 RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え

RET2-8 機能の ON/OFF を切り換えることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

```

▲▼◀◀<User> ▶▶
-----
User No.:    1
Copy
ResetData
    
```

Switch 画面

```

▲▼◀◀<Switch> ▶▶
-----
(A) AUX:     Fr1P
(A1) AUX1:   Shtl
(A2) AUX2:   Fr1P
    
```

⏪ × 7

```

<Switch>
(R) RET:     RET
(AM) A/M:    Norm
▲ Option
    
```

Option 画面

```

<Switch>
▲▼ Option
-----
RET2-8:     OFF
    
```

⏪

```

<Switch>
Option
▲ RET2-8:   ◀OFF▶
    
```

⏪⏩ で選択

RET2-8	RET2-8 (RET2/RET3/RET4/RET5/RET6/RET7/RET8) スイッチ	
選択項目	ON	OFF
機能	有効	無効

<User> / <Preset> - Frame1

4-16 フレーミングプリセット 1 の制御対象切り換え

フレーミングプリセット 1 の制御対象を切り換えることができます。

Zoom : ズームがメモリー位置へ移動
 Focus : フォーカスがメモリー位置へ移動
 Z+F : ズーム、フォーカスがメモリー位置へ移動

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

```

▲▼◀◀<User> ▶▶
-----
User No.:    1
Copy
ResetData
    
```

Preset 画面

```

▲▼◀◀<Preset> ▶▶
-----
Frame1:     Zoom
Frame2:     Zoom
Z-speed:    800
    
```

⏪ × 2

```

<Preset>
▲▼ Frame1:   ◀Zoom▶
-----
Frame2:     Zoom
Z-speed:    800
    
```

⏪⏩ で選択

Frame1	フレーミングプリセット 1		
選択項目	Zoom	Focus	Z+F
機能	ズーム 動作制御	フォーカス 動作制御	ズーム + フォーカス 動作制御

Setting

<User> / <Preset> - Frame2

4-17 フレーミングプリセット 2 の制御対象切り換え

フレーミングプリセット 2 の制御対象を切り換えることができます。

Zoom：ズームがメモリー位置へ移動
 Focus：フォーカスがメモリー位置へ移動
 Z+F：ズーム、フォーカスがメモリー位置へ移動

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼◀◀<User> ▶▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Preset 画面 ▶ × 2

▲▼◀◀<Preset> ▶▶

Frame1: Zoom

Frame2: Zoom

Z-speed: 800

⏪ × 2

<Preset>

Frame1: Zoom

▲▼ Frame2: ◀ Zoom ▶

Z-speed: 800

▶ ⏪ で選択

<User> / <Preset> - Z-speed

4-18 プリセット時のズームスピード設定

任意の位置から記憶ポジションまでのズームスピードを設定することができます。
 変更方法には、Memo スイッチによる変更方法（取扱説明書「レンズ」参照）と、ディスプレイ操作による変更方法とがあります。2つの方法はどちらも有効ですが、最後に実施した設定が優先されます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼◀◀<User> ▶▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Preset 画面 ▶ × 2

▲▼◀◀<Preset> ▶▶

Frame1: Zoom

Frame2: Zoom

Z-speed: 800

⏪ × 3

<Preset>

Frame2: Zoom

▲▼ Z-speed: ◀ 800 ▶

Z-movement

▶ ⏪ で選択

『ご注意ください』

設定した値は、Fr1P,Fr2P の両方に適用されます。

Frame2	フレーミングプリセット 2		
選択項目	Zoom	Focus	Z+F
機能	ズーム動作制御	フォーカス動作制御	ズーム + フォーカス動作制御

Z-speed	プリセット時のズームスピード		
選択項目	1	-	800
機能	最低速	-	最高速
初期値：800			

Setting

<User> / <Preset> - Z-movement - Start

4-19 プリセット時のズーム立ち上がり特性設定

プリセット操作を行うときのズーム立ち上がり特性を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

◀◀<User> ▶▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Preset 画面

▶ × 2

◀◀<Preset> ▶▶

Frame1: Zoom

Frame2: Zoom

Z-speed: 800

▼ × 4

<Preset>

Frame2: Zoom

Z-speed: 800

▲ Z-movement

Set

<Preset>

▲ Z-movement

Start: 99

Stop: 91

▼

<Preset>

Z-movement

▲ Start: ◀ D99

Stop: 91

▶ ◀ で選択

Z-movement - Start	プリセット時のズーム立ち上がり特性		
選択項目	00	-	99
機能	ゆっくり立ち上がる	-	急に立ち上がる

初期値：99

<User> / <Preset> - Z-movement - Stop

4-20 プリセット時のズーム止まり際特性設定

プリセット操作を行うときのズーム止まり際特性を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

◀◀<User> ▶▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Preset 画面

▶ × 2

◀◀<Preset> ▶▶

Frame1: Zoom

Frame2: Zoom

Z-speed: 800

▼ × 4

<Preset>

Frame2: Zoom

Z-speed: 800

▲ Z-movement

Set

<Preset>

▲ Z-movement

Start: 99

Stop: 91

▼ × 2

<Preset>

Z-movement

Start: 99

▲ Stop: ◀ D91

▶ ◀ で選択

Z-movement - Stop	プリセット時のズーム止まり際特性		
選択項目	00	-	99
機能	ゆっくり止まる	-	急に止まる

初期値：91

Setting

<User> / <Iris> - Iris-Gain - Auto

Sub

4-21 オートアイリスゲインの設定

オートアイリスゲインの設定値を変更することができます。

『ご注意ください』

オートアイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーに関係なく全てのユーザーに共通で適用されます。そのため、ユーザー切り換えをあらかじめ行う必要はありません。また、例外的に TEMP ユーザーにも設定変更が反映されます。

User 画面

Iris 画面

▶ × 3

◀

Set

◀

▶ ◀ で選択

『ご注意ください』

アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、

→ドライブユニットのアイリス A/M スイッチの設定が [Auto] モードになっていることを確認します。

→カメラのアイリスモードをオートアイリス状態に設定します。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をご確認ください。

『ご注意ください』

レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングがおこらない範囲でゲインが適正になるように設定してください。

『ご注意ください』

オートアイリスゲインの設定値は、4-5、4-6 に記載の「設定リセット」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはメモしておくことをお勧めします。

<User> / <Iris> - Iris-Gain - Remote

4-22 リモートアイリスゲインの設定

リモートアイリスゲインの設定値を変更することができます。

『ご注意ください』

リモートアイリスゲインの設定値は、ディスプレイに表示されているユーザーに関係なく全てのユーザーに共通で適用されます。そのため、ユーザー切り換えをあらかじめ行う必要はありません。また、例外的に TEMP ユーザーにも設定変更が反映されます。

User 画面

Iris 画面

▶ × 3

◀

Set

▶ × 2

▶ ◀ で選択

『ご注意ください』

アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、

→ドライブユニットのアイリス A/M スイッチの設定が [Auto] モードになっていることを確認します。

→カメラのアイリスモードをリモートアイリス状態に設定します。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をご確認ください。

『ご注意ください』

リモートアイリスゲインの設定値は、4-5、4-6 に記載の「設定リセット」を行ってもリセットされません。そのため、一度変更すると、工場出荷値を参照することができなくなります。必要な場合にはメモしておくことをお勧めします。

Iris-Gain - Auto	オートアイリスゲイン			
選択項目	01	-	99	--- *1
機能	ゲイン最小	-	ゲイン最大	無効
初期値 : 50				

Iris-Gain - Remote	リモートアイリスゲイン			
選択項目	01	-	99	--- *1
機能	ゲイン最小	-	ゲイン最大	無効
初期値 : 90				

*1: RF マウント製品のみ、RF 通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合に「---」が表示され機能は無効となります。

*1: RF マウント製品のみ、RF 通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合に「---」が表示され機能は無効となります。

Setting

<User> / <Iris> - Torque Sub

4-23 アイリストルクの設定

アイリスリングをマニュアル操作したときの操作力を選択できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼ <<User> ▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Iris 画面 ▶ × 3

▲▼ <<Iris> ▶

Iris-Gain

Torque: High

Ext-Comp: ON

⬇ × 2

<Iris>

Iris-Gain

▲▼ Torque: ◀ High ▶

Ext-Comp: ON

▶◀ で選択

Torque	アイリストルク	
選択項目	High	Low
機能	操作力が重い	操作力が軽い

<User> / <Iris> - Ext-Comp

4-24 アイリス補正の ON/OFF 切り換え

エクステンダー (2×) を使用すると、光量が低下します。そのため、光量を維持するようにアイリスをオープン側に補正する機能が設定できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼ <<User> ▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Iris 画面 ▶ × 3

▲▼ <<Iris> ▶

Iris-Gain

Torque: High

Ext-Comp: ON

⬇ × 3

<Iris>

Torque

▲▼ Ext-Comp: ◀ ON ▶

Close: OFF

▶◀ で選択

『ご注意ください』

アイリス補正を ON に設定、エクステンダー (2×) のとき、アイリスは完全クローズにならない場合があります。このときは「4-25 アイリスクローズ検出の ON/OFF を切り換え」で ON に設定してください。

『ご注意ください』

「Close」は「Ext-Comp」が ON 時に表示されます。

Ext-Comp	アイリス補正		
選択項目	ON	OFF	--- *1
機能	アイリス補正する	アイリス補正しない	無効

*1: RF マウント製品のみ、RF 通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合に「---」が表示され機能は無効となります。

Setting

<User> / <Iris> - Close

4-25 アイリスクローズ検出の ON/OFF 切り換え

アイリス補正機能が ON になっているときに、エクステンダー (2×) を入れると、クローズ相当の指令を受けても、アイリスをクローズにできない状態になります。その対策として、クローズ指令を検出したときはアイリスをクローズさせる機能を設定できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

『ご注意ください』

カメラによっては、レンズのアイリス補正とカメラからのアイリスコントロールとの相互関係で、アイリスが正常に動作できない場合があります。そのときはアイリスクローズ検出機能を OFF にしてください。

Iris 画面

⏪ × 3

⏩ × 4

⏪ ⏩ で選択

『ご注意ください』

「Close」は「Ext-Comp」が ON 時に表示されます。

『ご注意ください』

アイリス補正が ON 設定時に、アイリスクローズ検出が有効になります。

Close	アイリスクローズ検出		
選択項目	ON	OFF	--- *1
機能	クローズ検出する	クローズ検出しない	無効

<User> / <Zoom> - Tracking Sub

4-26 ズームトラックの ON/OFF 切り換え

ズームトラックの ON/OFF を切り換えることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

Zoom 画面

⏪ × 3

⏩

⏪ ⏩ で選択

Tracking	ズームトラック	
選択項目	ON	OFF
機能	ズームトラック有効	ズームトラック無効

*1: RF マウント製品のみ、RF 通信制御でアイリスの操作元がカメラの場合に「---」が表示され機能は無効となります。

Setting

<User> / <Zoom> - Movement - Start

4-27 ズームサーボの立ち上がり特性設定

ズームサーボの立ち上がり特性を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲◀<User> ▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Zoom 画面

⏪ × 3

▲◀<Zoom> ▶

Tracking: OFF

Movement

CurveMode

⏩ × 2

<Zoom>

Tracking: OFF

▲◀Movement ▶

CurveMode

(Set)

<Zoom>

▲◀Movement ▶

Start: 99

Stop: 91

⏩

<Zoom>

Movement

▲ Start: ◀D99▶

Stop: 91

⏪ ⏩ で選択

Movement - Start	ズームサーボの立ち上がり特性		
選択項目	00	-	99
機能	ゆっくり立ち上がる	-	急に立ち上がる

初期値：99

<User> / <Zoom> - Movement - Stop

4-28 ズームサーボの止まり際特性設定

ズームシーソースイッチなどでズーム操作を行い、ズーム操作を停止するときの止まり際特性を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲◀<User> ▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Zoom 画面

⏪ × 3

▲◀<Zoom> ▶

Tracking: OFF

Movement

CurveMode

⏩ × 2

<Zoom>

Tracking: OFF

▲◀Movement ▶

CurveMode

(Set)

<Zoom>

▲◀Movement ▶

Start: 99

Stop: 91

⏩ × 2

<Zoom>

Movement

▲ Stop: ◀D91▶

End: 99

⏪ ⏩ で選択

Movement - Stop	ズームサーボの止まり際特性		
選択項目	00	-	99
機能	ゆっくり止まる	-	急に止まる

初期値：91

Setting

<User> / <Zoom> - Movement - End

4-29 ズームメカ端部の止まり際特性設定

ズームシーソースイッチなどでズーム操作を行うときの、ズームメカ端部の止まり際特性を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

◀◀<User> ▶▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Zoom 画面 ⏪ × 3

◀◀<Zoom> ▶▶

Tracking: OFF

Movement

CurveMode

⏩ × 2

<Zoom>

Tracking: OFF

▲ Movement ▼

CurveMode

(Set)

<Zoom>

▲ Movement ▼

Start: 99

Stop: 91

⏩ × 3

<Zoom>

Movement

Stop: 91

▲ End: ▼ ◀ D99 ▶

⏪ ⏩ で選択

Movement - End	ズームメカ端部の止まり際特性	
選択項目	00	99
機能	ゆっくり止まる	急に止まる

初期値：99

<User> / <Zoom> - CurveMode - Seesaw Sub

4-30 ズームシーソースイッチのカーブ特性設定

ズームシーソースイッチの押し込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

◀◀<User> ▶▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Zoom 画面 ⏪ × 3

◀◀<Zoom> ▶▶

Tracking: OFF

Movement

CurveMode

⏩ × 3

<Zoom>

Movement

▲ CurveMode ▼

SpeedAdj

(Set)

<Zoom>

▲ CurveMode ▼

Seesaw: 5

Demand: 5

⏩

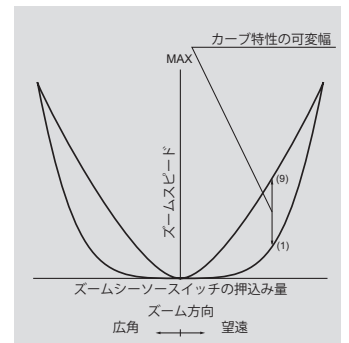
<Zoom>

CurveMode

▲ Seesaw ▼ ◀ D5 ▶

Demand: 5

⏪ ⏩ で選択



Seesaw	ズームシーソースイッチのカーブ特性								
選択項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9

Setting

<User> / <Zoom> - CurveMode - Demand

4-31 アナログズームデマンドのカーブ特性設定

アナログズームデマンドの倒し込み量に対するズームスピードの特性を、可変させることができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲◀<User> ▶
▼

User No.: 1
Copy
ResetData

Zoom 画面

⏪ × 3

▲◀<Zoom> ▶
▼

Tracking: OFF
Movement
CurveMode

⏩ × 3

<Zoom>
Movement
▲◀CurveMode ▶

(Set)

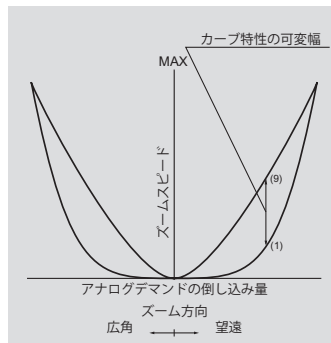
<Zoom>
▲◀CurveMode ▶

Seesaw: 5
Demand: 5

⏩ × 2

<Zoom>
CurveMode
Seesaw: 5
▲ Demand: ◀D5▶

⏪ ⏩ で選択



<User> / <Zoom> - SpeedAdj - Max

4-32 ズームスピード調整ボリュームの最大値設定

ドライブユニットの最高ズームスピード調整ボリュームの最大値を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲◀<User> ▶
▼

User No.: 1
Copy
ResetData

Zoom 画面

⏪ × 3

▲◀<Zoom> ▶
▼

Tracking: OFF
Movement
CurveMode

⏩ × 4

<Zoom>
CurveMode
▲◀SpeedAdj ▶

Ctrl: Speed

(Set)

<Zoom>
▲◀SpeedAdj ▶

Max: 99
Min: 01

⏩

<Zoom>
SpeedAdj
▲ Max: ◀D99▶

Min: 01

⏪ ⏩ で選択

CurveMode - Demand

アナログズームデマンドのカーブ特性

選択項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

SpeedAdj - Max

ズームスピード調整ボリュームの最大値

選択項目	Min	設定値超過	-	99
------	-----	-------	---	----

初期値：99

Setting

<User> / <Zoom> - SpeedAdj - Min

4-33 ズームスピード調整ボリュームの最小値設定

ドライブユニットの最高ズームスピード調整ボリュームの最小値を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼ <<User> ▶
 User No.: 1
 Copy
 ResetData

Zoom 画面 × 3

▲▼ <<Zoom> ▶
 Tracking: OFF
 Movement
 CurveMode

 × 4

<Zoom>
 CurveMode
 ▲▼ SpeedAdj
 Ctrl: Speed



<Zoom>
 ▲▼ SpeedAdj
 Max: 99
 Min: 01

 × 2

<Zoom>
 SpeedAdj
 Max: 99
 ▲ Min: ◀ D01 ▶

  で選択

SpeedAdj - Min	ズームスピード調整ボリュームの最小値		
選択項目	01	-	Max 設定値未満
	初期値 : 01		

<User> / <Zoom> - Ctrl

4-34 ズームデマンドからのサーボ方式設定

ズームデマンドからのサーボ方式をスピードサーボ、またはポジションサーボのいずれかに設定できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼ <<User> ▶
 User No.: 1
 Copy
 ResetData

Zoom 画面 × 3

▲▼ <<Zoom> ▶
 Tracking: OFF
 Movement
 CurveMode

 × 5

<Zoom>
 SpeedAdj
 ▲▼ Ctrl: ▶ Speed ▶
 Z.S.: Ssaw+Dem

  で選択

『ご注意ください』

「Position」を選択すると、シーソースイッチは使用できなくなります。また、デマンドコネクターの接続は1系統のみになります。

Ctrl	ズームデマンドからのサーボ方式	
選択項目	Speed	Position
機能	スピードサーボ	ポジションサーボ

Setting

<User> / <Zoom> - Z.S.

4-35 ズームスピード調整ボリュームの有効/無効設定

ドライブユニットの最高ズームスピード調整機能を、ズームデマンドに対して有効/無効にする設定ができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼ <<User> ▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Zoom 画面

◀ × 3

▲▼ <<Zoom> ▶

Tracking: OFF

Movement

CurveMode

▶ × 6

<Zoom>

SpeedAdj

Ctrl: Speed

▲ Z.S.: ◀ Ssaw+Dem ▶

▶ ◀ で選択

<User> / <Focus> - CurveMode - ADemand

4-36 フォーカスデマンドのカーブ特性設定

フォーカスデマンドのカーブ特性を設定することができます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼ <<User> ▶

User No.: 1

Copy

ResetData

Focus 画面

◀ × 2

▲▼ <<Focus> ▶

CurveMode

▶

<Focus>

▲ CurveMode ◀

Set

<Focus>

▲▼ CurveMode ◀

ADemand: 5

▶

<Focus>

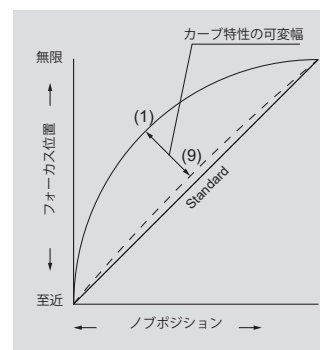
CurveMode

▲ ADemand: ◀ D5 ▶ ◀

▶ ◀ で選択

『ご注意ください』

カーブ切り換えスイッチのあるフォーカスデマンドを使用し、Far側を選択したときに有効になります。



Z.S.	ズームスピード調整ボリューム	
選択項目	Ssaw+Dem	Ssaw
機能	シーソー：有効 デマンド：有効	シーソー：有効 デマンド：無効

CurveMode - ADemand	フォーカスデマンドのカーブ特性								
選択項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9

Setting

<User> / <System> - FocusBC

4-37 フォーカスブリージング補正機能の有効 / 無効設定

フォーカスブリージング補正機能の有効 / 無効を設定できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼<User>▶
User No.: 1
Copy
ResetData

System 画面

▲▼<System>▶
FocusBC: OFF
VR-Out: OFF
I/Fprior: Mount

<System>	
▲▼FocusBC:	◀OFF▶
VR-Out:	OFF
I/Fprior:	Mount

◀▶で選択

<User> / <System> - VR-Out

4-38 バーチャル出力の有効 / 無効設定

バーチャル出力の有効 / 無効を設定できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲▼<User>▶
User No.: 1
Copy
ResetData

System 画面

▲▼<System>▶
FocusBC: OFF
VR-Out: OFF
I/Fprior: Mount

<System>	
FocusBC:	OFF
▲▼VR-Out:	◀OFF▶
I/Fprior:	Mount

◀▶で選択

FocusBC	フォーカスブリージング補正	
選択項目	ON	OFF
機能	有効	無効

VR-Out	バーチャル出力	
選択項目	ON	OFF
機能	有効	無効

Setting

<User> / <System> - I/Fprior

4-39 カメラからの指令信号の入力経路設定

カメラからの指令信号の入力経路を設定できます。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲◀<User> ▶
▼
User No.: 1
Copy
ResetData

System 画面

▲◀<System> ▶
▼
FocusBC: OFF
VR-Out: OFF
I/Fprior: Mount

⏪ × 3

<System>
VR-Out: OFF
▲◀I/Fprior: ▶ Mount
CamSeri: Allow

⏪⏩ で選択

<User> / <System> - CamSeri

4-40 カメラシリアル通信の有効 / 無効設定

レンズとカメラ間のインターフェースにおけるシリアル通信の有効 / 無効 (アナログ制御) を設定します。

『ご注意ください』

操作を行う前に、あらかじめ設定を行いたいユーザーに切り換えておいてください。ユーザー切り換え方法は、「2.Sub 2-2 ユーザーの切り換え」または「4.Setting 4-1 ユーザーの切り換え」をご覧ください。

User 画面

▲◀<User> ▶
▼
User No.: 1
Copy
ResetData

System 画面

▲◀<System> ▶
▼
FocusBC: OFF
VR-Out: OFF
I/Fprior: Mount

⏪ × 4

<System>
VR-Out: OFF
I/Fprior: Mount
▲CamSeri: ▶ Allow

⏪⏩ で選択

I/Fprior	カメラからの指令信号の入力経路	
選択項目	Mount	Cable
機能	RF 通信または PL 通信 (I 通信) からのコントロールが優先される。	12pin カメラ IF からコントロールされる。

CamSeri	カメラシリアル通信	
選択項目	Allow	-----
機能	有効	無効

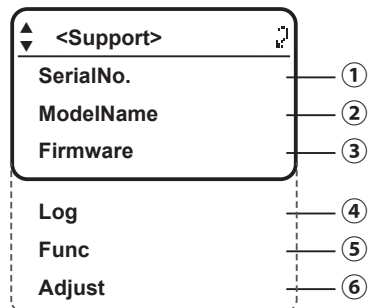
Support

<Support>

5 Support 画面

レンズのサポート情報メニューを表示します。

Support 画面



① SerialNo. シリアルナンバーの表示 (5-1 へ)

② ModelName レンズ名称の表示 (5-2 へ)

③ Firmware ファームウェアの情報表示 (5-3 へ)

④ Log ログ画面 (5-4 へ)

⑤ Func 倍率色収差補正と光量補正データの通信機能への対応情報 (5-5 へ)

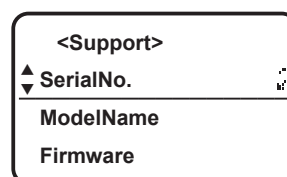
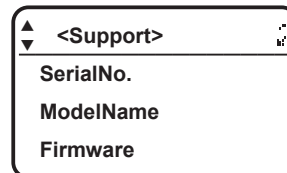
⑥ Adjust メカ端の自動調整 (5-6 へ)

<Support> - <SerialNo.>

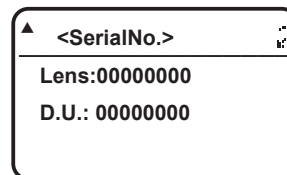
5-1 シリアルナンバーの表示

レンズとドライブユニットのシリアルナンバーを表示します。

Support 画面



SerialNo. 画面



SerialNo.	シリアルナンバー *2
-----------	-------------

表示項目	Lens: レンズのシリアルナンバー *1 D.U.: ドライブユニットのシリアルナンバー
------	--

*1: カメラマウント側からの電源供給がない場合は、レンズのシリアルナンバーは表示されません。

*2: シリアルナンバー が一致しない組み合わせでは動作不良となる場合があります。

Support

<Support> - <ModelName>

5-2 レンズ名称の表示

レンズの名称を表示します。

Support 画面

<Support>
SerialNo.
ModelName
Firmware

× 2

<Support>
SerialNo.
ModelName
Firmware

ModelName 画面 (Set)

<ModelName>
CN7x17 KAS T/R1

<Support> - <Firmware>

5-3 ファームウェアの情報表示

レンズに構成されるファームウェアの情報を表示します。

Support 画面

<Support>
SerialNo.
ModelName
Firmware


× 3

<Support>
ModelName
Firmware
Log

Firmware 画面 (Set)

<Firmware>
D:037.01.01

『ご注意ください』
「Firmware 画面」に表示される数字は、構成されるファームウェアによって変わります。また、製品によって表示する行数も異なります。

『ご注意ください』
PL マウント製品：
アップデートファイルが入った USB デバイス (USB メモリー) を認識した場合、アップデート可能なファームウェア情報にカーソルを合わせると「」が表示されます。ファームウェアを更新する場合は、「5-3-1 ファームウェアの更新」をご覧ください。
RF マウント製品：
USB デバイス (USB メモリー) を介してのファームウェアの更新はできません。アップデート用のファイルが保存された SD カードをカメラに差し込み、カメラのメニューからファームウェアを更新することができます。

ModelName	レンズ名称	
表示項目	1 行目	レンズの名称 前半 15 文字
	2 行目	レンズの名称 後半 15 文字

Firmware	ファームウェア
表示項目	レンズに構成されるファームウェア情報

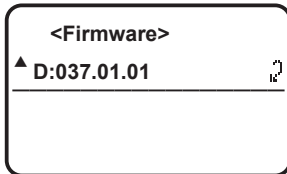
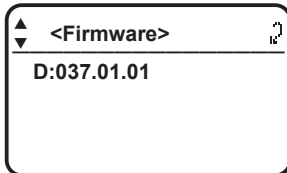
5-3-1 ファームウェアの更新

アップデートファイルが入った USB デバイス (USB メモリー)*1 を接続して、レンズに構成されるファームウェアを更新します。

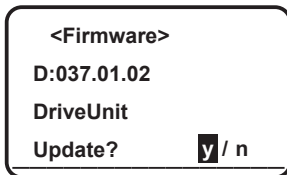
『ご注意ください』

1. USB デバイス (USB メモリー) を介してのファームウェアの更新は、PL マウント製品のみ可能です。
2. 更新の詳細については、更新用ファームウェアのリリース情報をご確認ください。
3. ファームウェアの更新には、カメラマウント側からの電源供給が必要です。

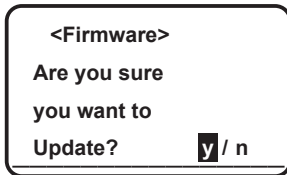
Firmware 画面



画面 A *2

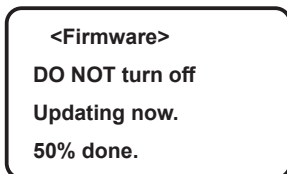


画面 B *2



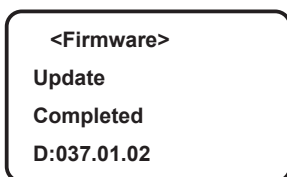
画面 M1

*3



画面 M2

*3



『ご注意ください』

- *1 : アップデート実行中は、USB デバイス (USB メモリー) を抜いたり、製品の電源を切ったりしないでください。
- *2 : 「画面 A」、「画面 B」で、アップデートを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「Firmware 画面」に戻ります。
- *3 : 「画面 M1」、「画面 M2」以外のメッセージが表示された場合は、下表「メッセージ一覧」をご覧ください。

メッセージ一覧		
画面 M1	<p><Firmware> DO NOT turn off Updating now. 50% done.</p>	アップデート実行中に、アップデートの進捗率が表示されます。
画面 M2	<p><Firmware> Update Completed D:037.01.02</p>	アップデートが正常に完了した場合には表示されます。Set キーを押すとファームウェアをリスタートし、画面は消灯します。
画面 M3	<p>Update Error!</p>	アップデート実行中にエラーが発生した場合には表示されます。「画面 M3」が表示された場合は、一度すべての電源を OFF したのち、電源を ON し、画面のメッセージに従って再度ファームウェアの更新をやり直してください。何度かやり直しても正常にファームウェアの更新ができない場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。
画面 M4	<p>Error: Connect USB- memory with new firmware.</p>	アップデートエラーが発生したのちに、電源 OFF/ON すると表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。最初からやり直してください。
画面 M5	<p>Please Wait</p>	USB デバイス (USB メモリー) にアクセスする際、USB デバイス (USB メモリー) へのアクセス終了の際に表示されます。「画面 M2」、「画面 M3」、「画面 M4」の状態、ディスプレイスイッチ OFF や自動消灯による画面消灯になると、この「画面 M5」が表示された後に自動で画面が消灯します。

Support

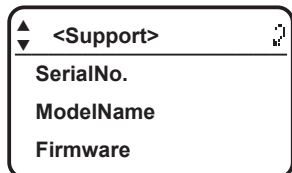
<Support> - <Log>

5-4 ログ画面

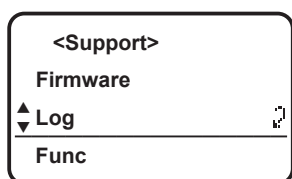
ログの操作メニューを表示します。

本製品は、レンズ管理情報などを記録したログを USB デバイス (USB メモリー) へエクスポートすることができます。お客様の機材管理や、お求めになった代理店または販売店への問い合わせ時にご利用ください。

Support 画面

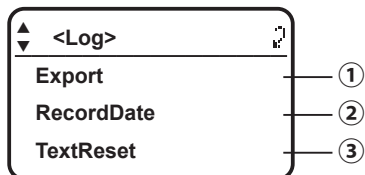


⌵ × 4



Log 画面

(Set)



① Export ログのエクスポート (5-4-1 へ)

② RecordDate ログの日付入力 (5-4-2 へ)

③ TextReset ログのリセット (5-4-3 へ)

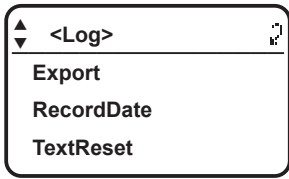
Support

<Support> - <Log> - Export

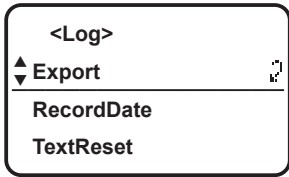
5-4-1 ログのエクスポート

ログを USB デバイス (USB メモリー)*1 にエクスポートします。

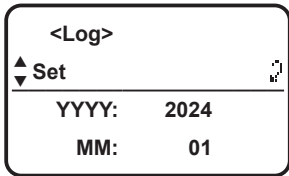
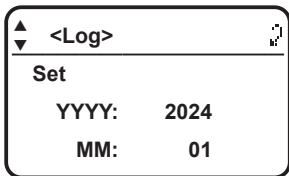
Log 画面



画面 A

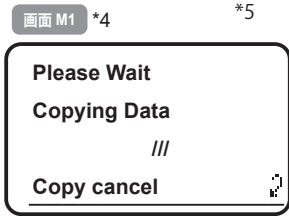


画面 B *2



画面 C *3

Set でエクスポート開始



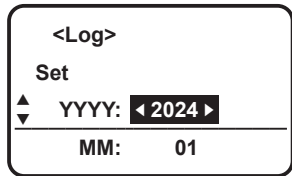
画面 M1 *4

*5

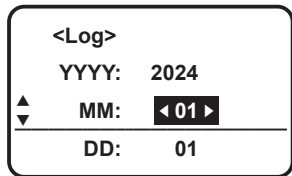


画面 M2

*5



で選択



で選択



で選択

× 4 で画面 B へ戻る

『ご注意ください』

- *1: ログのエクスポート中は、USB デバイス (USB メモリー) を抜いたり、製品の電源を切ったりしないでください。
- *2: 「画面 B」は、エクスポートするログのファイル名に反映される日付情報です。『5-4-2 ログの日付入力』で入力した年月日が表示されます。日付情報が未入力の場合、または日付情報を変更する場合は、下キーを 2 回押しして年月日を入力してください。ここで入力した日付情報は記憶されません。
- *3: 「画面 C」で、ログのエクスポートを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。
- *4: 「画面 M1」で、ログのエクスポートをキャンセルする場合は Set キーを押してください。
- *5: 「画面 B」、「画面 M1」、「画面 M2」以外の画面が表示された場合は、下表「メッセージ一覧」をご覧ください。

YYYY:	年		
選択範囲	2024	-	2100
MM:	月		
選択範囲	01	-	12
DD:	日		
選択範囲	01	-	31

メッセージ一覧		
画面 M1		ログのエクスポート中に表示されます。キャンセルする場合は Set キーを押してください。
画面 M2		ログのエクスポートが完了したら表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M3		USB デバイス (USB メモリー) が接続されていない場合や、通信が確認できない場合に表示されます。USB デバイス (USB メモリー) が接続されているか、お使いの USB デバイス (USB メモリー) の仕様が適しているかご確認ください。仕様については、レンズ編「6-2. USB デバイス (USB メモリー) 仕様」をご覧ください。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M4		ログのエクスポートをキャンセルした場合に表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M5		ログのエクスポート中にエラーが発生した場合に表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M6		「画面 M2」、「画面 M4」、「画面 M5」の状態では、ディスプレイスイッチ OFF 操作や自動画面消灯が行なわれると、この「画面 M6」を表示した後に自動で画面が消灯します。

Support

<Support> - <Log> - <ServiceLog>

5-4-4 サービスログ画面

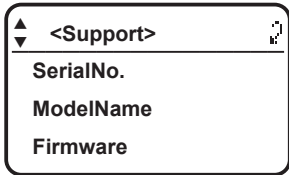
サービスログの操作メニューを表示します。

本製品は、レンズ作動履歴などを記録したサービスログを USB デバイス (USB メモリー) へエクスポートすることができます。このサービスログは、サービスを受ける際にご活用ください。

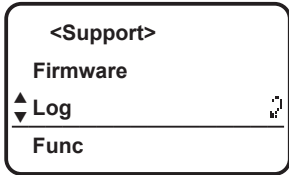
『ご注意ください』

サービスログは、サービス対応における解析専用データとなっており、お客様には判読できません。サービスログの記録やエクスポートをするときは、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせいただき、その指示に従って操作してください。

Support 画面

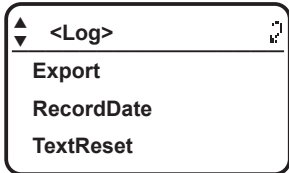


⏪ × 4

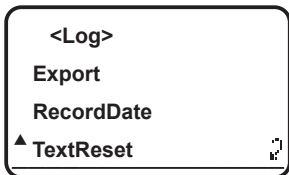


Set

Log 画面

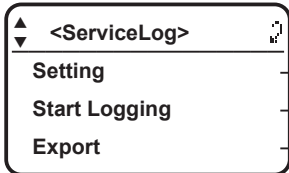


⏪ × 3



ServiceLog 画面

⏪ 10 秒以上長押し



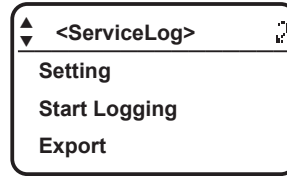
① Setting	サービスログの設定 (5-4-4-1 へ)
② Start Logging	サービスログの記録 (5-4-4-2 へ)
③ Export	サービスログのエクスポート (5-4-4-3 へ)

<Support> - <Log> - <ServiceLog> - Setting

5-4-4-1 サービスログの設定

レンズ作動履歴などを記録するときの条件を設定します。

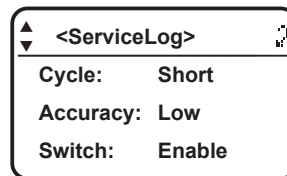
ServiceLog 画面



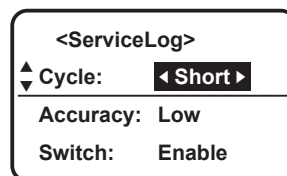
⏪



Set

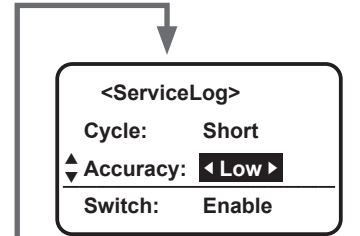


⏪



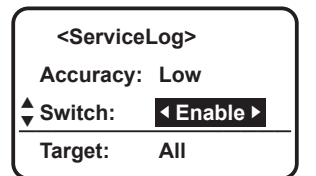
⏪ ⏩ で選択

⏪



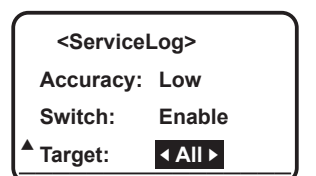
⏪ ⏩ で選択

⏪



⏪ ⏩ で選択

⏪



⏪ ⏩ で選択

Cycle:	レンズ作動履歴の取得間隔					
選択項目	Short	Long				
機能	短い	長い				
Accuracy:	レンズ位置情報の精度					
選択項目	Low	High				
機能	低い	高い				
Switch:	ドライブユニットのスイッチ押下情報					
選択項目	Enable	-----				
機能	有	無				
Target:	サービスログの対象					
選択項目	All	Pin1	Pin2	Pin3	USB	Camera
機能	全て	Pin1	Pin2	Pin3	USB	カメラ

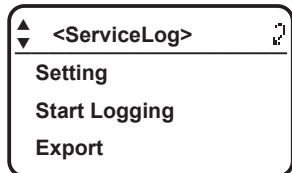
Support

<Support> - <Log> - <ServiceLog> - Start Logging

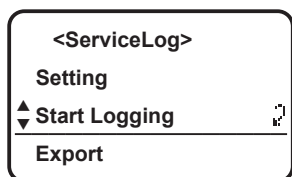
5-4-4-2 サービスログの記録

レンズ作動履歴などをサービスログに記録します。

ServiceLog 画面

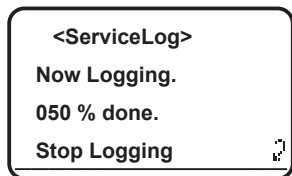


⏪ × 2

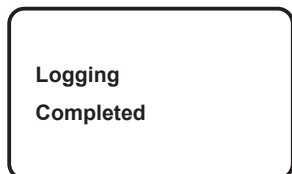


Ⓢ で記録開始 *1

画面 M1 *2



画面 M2



『ご注意ください』

*1: Set キーを押して記録を開始した後のレンズ作動履歴が、サービスログに記録されます。

『ご注意ください』

*2: 「画面 M1」で、サービスログの記録中は進捗率を 0-100% で表示します。進捗率 100% になる前に記録を終了するときは、Set キーを押してください。「画面 M2」を表示して、サービスログの記録を終了します。

メッセージ一覧

メッセージ一覧		
画面 M1		サービスログの記録中は進捗率を 0-100% で表示します。進捗率が 100% となるか、Set キーを押して記録を終了すると「画面 M2」が表示されます。
画面 M2		サービスログの記録が完了したら表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。

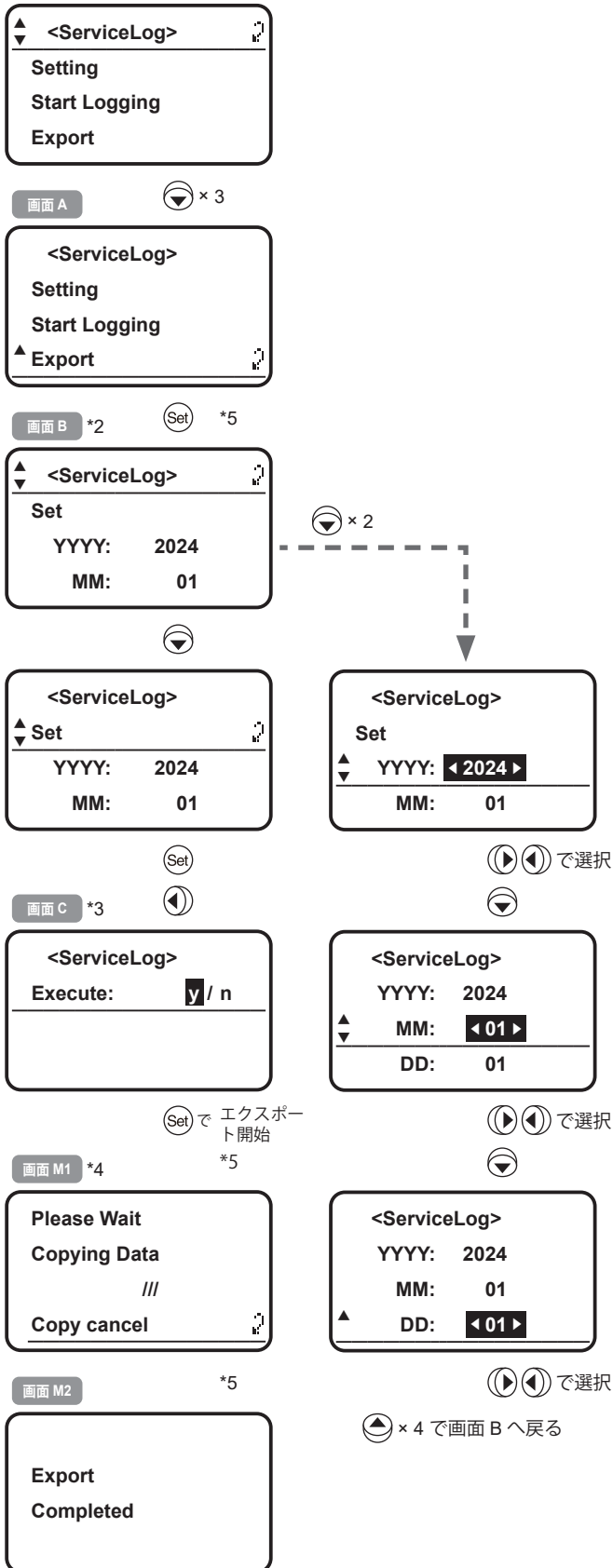
Support

<Support> - <Log> - <ServiceLog> - Export

5-4-4-3 サービスログのエクスポート

サービスログを USB デバイス (USB メモリー)*1 にエクスポートします。

ServiceLog 画面



『ご注意ください』

- *1: サービスログのエクスポート中は、USB デバイス (USB メモリー) を抜いたり、製品の電源を切ったりしないでください。
- *2: 「画面 B」には、『5-4-2 ログの日付入力』で入力した日付情報が表示されます。日付情報が未入力の場合、または日付情報を変更する場合は、下キーを 2 回押して、年月日を入力してください。ここで入力した日付情報は記憶されません。
- *3: 「画面 C」で、サービスログのエクスポートを実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。
- *4: 「画面 M1」で、サービスログのエクスポートをキャンセルする場合は Set キーを押してください。
- *5: 「画面 B」、「画面 M1」、「画面 M2」以外の画面が表示された場合は、下表「メッセージ一覧」をご覧ください。

YYYY:	年	
選択範囲	2024	2100
MM:	月	
選択範囲	01	12
DD:	日	
選択範囲	01	31

メッセージ一覧		
画面 M1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Please Wait Copying Data /// Copy cancel </div>	サービスログのエクスポート中に表示されます。キャンセルする場合は Set キーを押してください。
画面 M2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Export Completed </div>	サービスログのエクスポートが完了したら表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Please Connect USB Device </div>	USB デバイス (USB メモリー) が接続されていない場合や、通信が確認できない場合に表示されます。USB デバイス (USB メモリー) が接続されているか、お使いの USB デバイス (USB メモリー) の仕様が適しているかご確認ください。仕様については、レンズ編「6-2. USB デバイス (USB メモリー) 仕様」をご覧ください。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Export Cancelled </div>	サービスログのエクスポートをキャンセルした場合に表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Error!! Export Cancelled </div>	サービスログのエクスポート中にエラーが発生した場合に表示されます。Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Please Wait </div>	「画面 M2」、「画面 M4」、「画面 M5」の状態、ディスプレイスイッチ OFF 操作や自動画面消灯が行なわれると、この「画面 M6」を表示した後に自動で画面が消灯します。

Support

<Support> - Func - Chr-Abb data / Lumi-Comp data

5-5 倍率色収差補正と光量補正データの通信機能への対応情報

倍率色収差補正データ、光量補正データの通信機能への対応情報を表示します。

Support 画面

<Support>

SerialNo.

ModelName

Firmware

⏪ × 5

<Support>

Log

Func

Adjust

(Set)

Chr-Abb data

: Available

Lumi-Comp data

: Available

⏪

Chr-Abb data

: Available

Lumi-Comp data

: Available

Chr-Abb data:		倍率色収差補正機能	
選択項目	Available	None	
機能	カメラとの補正データ通信機能に対応している	カメラとの補正データ通信機能に対応していない	

Lumi-Comp data:		光量補正機能	
選択項目	Available	None	
機能	カメラとの補正データ通信機能に対応している	カメラとの補正データ通信機能に対応していない	

<Support> - <Adjust> - Mech.End

Sub

5-6 メカ端の自動調整

レンズ本体とドライブユニットのズーム、フォーカス、アイリスのメカ端を自動調整します。

『ご注意ください』

メカ端の自動調整を行なう前に、ドライブユニット底面部にあるズームサーボ／マニュアル切り換えノブとフォーカスサーボ／マニュアル切り換えノブの両方を SERVO 側にします。

Support 画面

<Support>

SerialNo.

ModelName

Firmware

⏪ × 6

<Support>

Log

Func

Adjust

(Set)

Adjust

Mech.End

EnterPassword

(Set)

⏪

画面 B *1

Lens

AutoAdjust

OK? / n

*2

画面 M1 *3 (Set) で調整開始

Auto-Adjustment:

Succeeded

Lens Interface:

Connected

『ご注意ください』

- *1: 「画面 B」で、自動調整を実行しない場合は、n を選択して Set キーを押してください。「画面 A」に戻ります。
- *2: メカ端の自動調整中はディスプレイが点滅します。ディスプレイ点滅中は、フォーカスドライブギアやズームドライブギアなどの操作環に手を触れないようにしてください。
- *3: 「画面 M1」以外のメッセージが表示された場合は、下表「メッセージ一覧」をご覧ください。

メッセージ一覧		
画面 M1	Auto-Adjustment: Succeeded Lens Interface: Connected	メカ端自動調整が正常に完了した場合には表示されます。 Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M2	Please Check Servo / Manu OK?	ズームサーボ／マニュアル切り換えノブとフォーカスサーボ／マニュアル切り換えノブの両方または一方が MANU. 側にあるときに表示されます。両方のノブを SERVO 側にして Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M3	Auto-Adjustment: Succeeded Lens Interface: Non-Connected	メカ端自動調整完了時、ドライブユニットとレンズ間の通信が確立していないときに表示されます。 Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M4	Auto-Adjustment: Error Lens Interface: Non-Connected	メカ端自動調整が異常終了したときに表示されます。「画面 M4」が表示された場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。 Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。
画面 M5	Auto-Adjustment: Error Lens Interface: Connected	メカ端自動調整が異常終了時、ドライブユニットとレンズ間の通信が確立しているときに表示されます。「画面 M5」が表示された場合は、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。 Set キーを押すと「画面 A」に戻ります。

Canon

キヤノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2